

# 2022 年度 第60回定期大会議案書



## 大会日程(概略)

- I 開会行事 (13:00~13:30)
- II 議事 (13:30~15:30)
- 1 第1号議案 2021年度活動に関する件
  - 2 第2号議案 2022年度活動方針に関する件
  - 3 第3号議案 2021年度会計決算報告および2022年度会計予算に関する件
  - 4 第4号議案 支部・分会提出議案に関する件
  - 5 第5号議案 大会宣言
- III 閉会行事 (15:40~15:50)

2022年6月26日(日)

於) 松本鎌田地区公民館+オンライン

長野県高等学校教職員組合 実習教員部

# 長野高教組実習教員部 第60回定期大会

## 目次

	ページ
1 第1号議案 2021年度総括	1
1 経過	1
2 総括	2 - 3
ブロック活動報告	4 - 5
支部活動報告	6 - 8
2 第2号議案 2022年度活動方針(案)	9 - 12
3 第3号議案 2021年度会計決算書および2022年度会計予算(案)	13
4 資料	15
1) 2022年度実習教員部役員名簿	16
2) メッセージ(全教実習教員部より)	17
3) 実習教員の「呼称」の定着にむけた取り組みについて	18 - 19
主な書類に関する呼称利用の可否一覧	20 - 21
4) 2021年度専門部交渉回答書	22 - 25
9) 実教部規約	26
5) 2022年度実習教員教科別年齢分布、組織率	27
6) 2022年度実習教員分会および採用別組合員数	28 - 29
7) 2022年度実習教員分会配置数	30 - 31
8) 長野高教組実習教員部のあゆみ	32 - 36
10) 理科研究会報告	37 - 40
11) 2022年度年間行事予定表	41

※ 別冊 ● 2022年度実習教員名簿(仮)

## 第1号議案

### 2021年度の諸行事および活動 [※：ハイブリッド・オンライン開催]

月	日(曜日)	会議・集会名	内容・参加者・会場等
3	19日(金)	要請・発送	信濃教育会へ「学事関係職員録」の表記についての要請
	26日(金)	発送	各学校長・事務担当者へ「呼称等に関わる確認と名簿等の作成について」発出
	31日(水)	発送	分会長へ「学事関係職員録」の記載の統一について」発出(4/1付)
4	27日(火)	第1回役員会・支部長会 ※ハイブリッドに変更	20年度活動総括、21年度活動計画、任務分担、実教部名簿、定期大会(要求アンケート) 人事、専門科問題 ほか
	28日(水)	発送	実教部名簿、要求アンケート
5	12日(水)	発送	「新採者への加入呼びかけ」
	18日(火)	第2回役員会 ※	定期大会(議案審議、日程、係分担等) 組織加入状況、学習交流集会、ニュース発行計画 ほか
		FAX送信	「免許法認定講習について」
	19日(水)	発送	大会前 支部総会開催依頼
	26日(水)	発送	「実教部ニュース」No.1発行(呼称のとりくみ、大会等案内、人事異動など)
6	1日(火)	第2回支部長会 ※	定期大会(議案書審議、係分担)、ニュース発行計画、学習交流集会 ほか
	2日(水)	発送	定期大会開催通知、支部・分会議案提出要請
	9日(水)	発送	「実教部ニュース」No.2発行(定期大会、学習交流集会日程)
	23日(水)	発送	実習教員のしおり(改訂・保存版)発行 ※全組合員対象
	27日(日)	<b>第59回定期大会 ※</b>	ハイブリッド開催(高校会館) 懇親会なし 参加者 計30名(工業6名 農業5名 理科19名)
7	6日(火)	第3回役員会 ※	定期大会総括、要求書審議、学習交流集会
	7日(水)	発送	「2021年度 実習教員部要求書(案)」の提示。意見集約。
	14日(水)	発送	「実教部ニュース」No.3発行(定期大会報告)
8	3日(火)	第4回役員会 第3回支部長会 ※	定期大会総括、要求書確定、提出交渉、学習交流集会 ほか
	31日(火)	第5回役員会 ※ <b>実教部 要求書提出交渉</b>	提出交渉打合せ、学習交流集会について ほか 議会棟第2特別会議室 役員のみ 5名参加
9	22日(水)	発送	「実教部ニュース」No.4発行(提出交渉報告、学習交流集会案内)
10	4日(月)	郵送	「回答書」の提示。意見集約
	9日(土)	全教実教部全国学習交流集会	オンライン開催 2名参加(+事務局長 会場参加)
	12日(火)	第4回支部長会 ※	回答交渉打合せ、学習交流集会 ほか
		<b>実教部 回答交渉</b>	議会棟第2特別会議室 支部長まで 13名参加
	16日(土)	北陸・中部・東海ブロック集会	ハイブリッド開催(岐阜市) 3名参加(+事務局長 会場参加)
31日(日)	<b>実教部 学習交流集会 ※</b>	ハイブリッド開催(高校会館) 懇親会なし 参加者 計27名(工業6名 農業3名 理科18名) 山岸さん含む	
11	10日(水)	発送	「実教部ニュース」No.5発行(回答交渉報告)
	18日(木)	高教組 独自要求確定交渉	・管理諸室、特別教室への冷房設備→「検討する」 ・電子黒板、wi-fiルータ設置→「検討する」 ・化学薬品に関する講習会→「開催について引き続き努力する」 ・採用増、採用選考→「実習助手の採用を引き続き努力する」
	30日(火)	第5回支部長会 ※	回答交渉総括、支部・ブロック総会について、来年度役員改選について ほか
2	23日(水)	全教実教部 定期総会	代議員(議長を兼ねる)、傍聴、全教事務局長の参加
	24日(木)	第6回支部長会 ※	年度総括 ほか

## 2021年度 活動総括

### はじめに

2021年度も昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を多大に受ける一年となりました。今年度は制約のある中でも、年間の予定はできるだけ削らずに、オンライン環境を併用しながらの「ハイブリット形式」で活動を行いました。通常の活動とまではいきませんでした。会議や定期大会、学習交流集会を開催できたことは大きな成果だったと思います。今後の情勢は見通せませんが、できることをできることから、できる範囲で行っていく努力は続けていきたいと思っています。

### 1. 賃金改善を求める取り組み

新専門科昇任基準が導入されてから5年目を迎え、この制度の施行以降の専門科の新規採用者もこの間、18人（うち2人は退職）となりました。今後、初任者が担任業務に携わるまで時間がかかることで分掌に影響を及ぼすことは明白です。また、昇任基準が変更されても分掌上の慣例的なものは一朝一夕には変わりません。特に、今年度から一斉運用となったC4thなどの新しい業務には若い実習教員が携わっている学校も多く、分掌上の業務負担は重いまま昇任基準が後退したという状況は、あってはならないことです。

また、理科の2級昇任基準についても、近年採用される人の経歴の多様化、特に理科教員免許を保有している採用者が一定数いることから、今年度の要求は例年より一歩踏み込んだ「年度年齢を削除する」ことを求めました。また、併せて、かねてより要求している在職年数引き下げについても、昭和45年発出の級別資格基準表が根拠となっていることに疑問を呈し、労働者の賃金改善の点から一年でも引き下げて欲しいと訴えました。今後は交渉以外にも様々な機会を捉えて、実習教員の賃金改善がなされるよう粘り強く訴えていきます。

### 2. 身分確立・職務の明確化に関する要求

「呼称」は、現行の実習助手制度の職名の弊害を改善するためのものです。しかし、学校現場でも十分にその必要が周知されず、定着していない一面もあります。引き続き県に働きかけると同時に、私たち自身が平日頃より積極的に「呼称」を使用し、現場に定着させる取り組みが必要です。呼称については、2019年3月の人事異動発表報道資料において、呼称の使用を取りやめ、職名での公表とすることが一方的に通達され、公表されるようになりました。以降、目立った改悪はありませんが、長年の交渉内容を一方的に反故にした県の姿勢は容認できません。以前の「呼称を使用した公表」に戻す要求を続けながら、これ以上の改悪を許さない姿勢を示していきます。また、呼称同様、信濃教育会発行の『学事関係職員録』において実習教員の名前が教科に含まれない、原則あいうえお順であるのに教科の一番最後になっているなど各校での対応に差があることが散見されるようになりました。2021年度原稿入力にあたり、関係各所をお願いをした結果、学事関係職員録の記載については多くの学校で改善がなされました。しかし、学校で使用される名簿等の表記には、依然として課題が残っている声も届いています。引き続き呼称の定着を呼びかけていく必要があります。

また、二級昇任制度について、新規採用者を含むすべての該当者について『実習助手の昇任要件について』（高校教育課作成）を配布することと内容を説明することを改めて訴えました。今年度の採用者の中には昇任要件に関し、管理職から十分な説明がなかった、個人差のある昇任要件について本人が直接県に問い合わせができることを知らない管理職がいるという話もあり、昇格が一年遅れることで生涯賃金に大きく響く制度であることや、私たちの職種に対する更なる理解を校長会、事務長会を通して管理職に求めていきます。

### 3. 採用・人事に関する取り組み

2021年度採用者は7名でした。内訳は農業2名（うち若年者1名）、工業2名（うち若年者2名）理科3名（うち若年者1名）です。2022年度採用予定者も7名で農業2名（うち若年者1名）、工業2名、理科3名の採用となりました。実習教員部としても採用者が困っていることや要求に対して積極的に関わり、一緒に解決していく

ことが大切です。例年の要求として、いまだ全体の約2割が欠員となっている状況から大幅な採用増を訴えました。また、今年度は、常勤講師が多い地区の正規実習教員の人事の停滞と採用選考における講師枠の創設を強く訴えました。常勤講師の任用についても、当該教科の専門知識を持った人を任用するなど、県として責任を持って任用して欲しいことを訴え、その中で、実習教員にも「講師リスト」のようなものがあることを確認しました。

採用に関しては、理科の教員免許保有者の採用がある一方、他教科の免許保有者、講師経験者、若年者と様々な人が採用されています。初任者研修の更なる充実と、初任者が実習教員部に繋がれるような多面的な取り組みを模索していきます。

#### 4. 学習交流活動・組織の拡大と強化に関する取り組み

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い様々な交流や学習の機会が制限されましたが、制限のある中でも繋がる機会をとということでオンラインを活用した一年となりました。6月には昨年度は書面議決であった定期大会をオンラインと会場の「ハイブリット形式」で行うことができました。やはり会場に集まって行う定期大会ほどの活発な意見交換はできませんでしたが、オンライン上であっても意見交換できる場を確保できた事は前進だと感じています。10月の学習交流集会もオンラインを活用し開催することができました。特に、「歴代部長と語る実教部の歴史」と題して長年実教部の活動にご尽力いただいた山岸富佐夫先生のお話は、今私たちにとって当たり前となっている権利は先輩方の多くのご労苦の上に積み上げられていることを知る機会となったのではないのでしょうか。

組織の拡大においては、直接的な交流ができない今の状況は非常に不利です。しかし、今後の社会全体の情勢を見据えながら、実教部としてどのような活動をしていくのかを明確にし、新規採用者を中心に各地区の研究会や日々の業務の中で日常の困りごとなどに寄り添いながら、実教部の繋がりの大切さを訴えていく事が大切です。

## 2021年度 ブロック活動報告書

ブロック名	北 信	代表者名	古川智恵
-------	-----	------	------

今年度、当ブロックは下記のように活動しましたので、会計書類を添えて報告します。

実施日	※書面にて開催	会場	参加人数
講 事			
内 容	(1) 申し合わせ事項の確認(副部長の輪番、来年度について) (2) 来年度役員選出(副部長・支部長) (3) 本年年度の反省(実教部の活動・交渉について) (4) 各校の様子 (5) 実教部学習交流会集について (6) 要求したいこと (7) 今年度の活動について		

### ◆申し送り、引継ぎ事項など

- (3) 本年年度の反省(実教部の活動・交渉について)
  - ・定期大会は、本部に行けたので言いたいことを言えましたが、みんなあんまり自分の労働条件について、不満無いのでしよか? 難敵している内に、出てくるモヤもありませんね。ただ、理科の正職の採用者の3年離職率が高くないですか? 長野南、木曽青峰、藤南、伊那北(野沢南)など。やはり、どうしてやめてしまふのが、重要ではないでしょうか。
  - ・県教委交渉に参加できなかったのも、様子が分からなかったのも、言ってほしいことは言って貰ったと思うので、良かったと思います。来年度の理科の採用は、常勤講師経験者なので、良かったと思います。
  - ・コロナ禍で良い面と悪い面があると思います。学校生活や組合活動も新しい形を作っていく時期であると感じます。
  - ・コロナでいろいろ制約がある中、工夫してうまくできたのではないかと思います。
  - (4) 各校の様子
    - ・実験がコロナのせいで、できないことが多く、用意したのにできなくて残念でした。また、進みも悪いので、実験までできないようです。
    - ・労働条件的には、コロナのためクラブ活動もなく、休日にきちんと休めたかと思えます。
    - ・ただ、一人職場で、講師が入っている学校以外への転勤が心配な気がします。年を取ると疲労がたまることが分かりました。腰痛で、近くに転勤させていたことに気がしました。専門科の先生方は遠距離通勤が普通になっていて、体力的に大変ではないかと思えます。
    - ・転勤には、出張や、7年縛りや、3地区縛りなど、画一的なことが多く、柔軟な対応が必要だと、身をもって感じました。
    - ・1年に1度の被服貸与でしたが、勝手に2年に1度にされて、今年度はありませんでした。それは、1着4年貸与と言うことで、まあいいです。
    - (5) 実教部学習交流会集について
      - ・本当は皆と顔を合わせてやりたいが、オンラインでも良かった。
      - ・家からオンラインで参加しました。とても参加しやすかったです。オンラインは中々良いと思います。参加しやすさや分、気が散りやすさ、また邪魔されやすさ。なので、強制的にどこかに集まるのは、ある意味良かったと思います。
      - ・早く、食べながらしゃべれる環境になるのがいいと思います。
      - ・オンライン開催のため講演会まで参加できましたが、スマートフォンでは疲れました。講演の内容は説明をする機会があれば参考にしたかったと思います。
      - (6) 要求したいこと
        - ・講師の採用。講師枠を設けてほしい。
        - ・理科免許持っている人は、専門科と同じ36歳からにしてほしい。理科免許持っている人が、みんな組合に入っていて、その人が要求すべきだと思います。免許持っている人に、要求させて乗っ取るのはおかしい。36歳から9歳に下げたいのなら、理科免許持っている人が組合に入って要求してほしい。理科免許持っている人で、組合に入っていない人が多すぎます。要求が無いと活動します。
        - (7) 今年度の活動について
          - ・兼業教諭は、新人研修のためにコア職員があるそうです。組合に入っている人は、新人に気をかけている気がします。組合に入っている人だけ、指導担当職員、みないない事があると思います。
          - ・組合活動、できるだけ負担のない形にしていきたいです。

### ●会計報告

収入	前年度繰越金	¥232	支出	返 金	¥50,000
本部補助金	¥50,000		合計(B)	¥50,000	
合計(A)	¥50,232		次年度繰越金(A-B)	¥232	

## 2021年度 ブロック活動報告書

ブロック名	東 信	代表者名	境 大希
-------	-----	------	------

今年度、当ブロックは下記のように活動しましたので、会計書類を添えて報告します。

実施日	月 日( ) ~ 日( )	会場	書面開催	参加人数
内 容	1. 学習交流会について <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍であり大変だと思うが、なるべく現地で開催してほしい。他校、他科の実習教員の先生と交流する数少ない機会なので。</li> <li>・コロナ収束以降もハイブリッド開催はできれば続けてほしい。</li> <li>・来年度の会場は松本での開催を希望します。</li> <li>・コロナが収束してから開催していただきたいと思っています。</li> </ul> 2. 来年度、要求書に盛り込む内容について <ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金を上げてほしい。</li> <li>・講師の方の比率が高いと思う。教諭の採用試験にあるように講師経験が一定年数あるのであれば教養試験免除など講師枠を設けていただき、講師の方の採用につながるようにしてほしい。</li> <li>・免許講習についても多くの希望者が参加できるように通年開催にしてほしい。</li> </ul> 3. 今年度の活動についての反省等(定期大会、学習交流会、交渉など) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、様々な方法での運営ありがとうございました。</li> <li>・一年間お疲れさまでした。</li> <li>・来年度はみんなまで参集して行事ができることを願っています。</li> <li>・ハイブリッド開催等、コロナ対策での実施をしていただき助かりました。</li> </ul>			

### ◆申し送り、引継ぎ事項など

オンライン会議等、もう少し検討すれば良かった。来年度もこのような状況が続くのであれば検討してみてください。

### ●会計報告

収入	前年度繰越金	¥0	支出	会議 費	¥0
本部補助金	0		旅 費	¥0	
個人負担金	¥0		事 務 費	¥0	
合計(A)	¥0		合 計 (B)	¥0	
次年度繰越金(A-B)	¥0				

### ★次年度副部長名

分会名	丸子修学館高校	理科	氏名	黒澤 瑞穂
-----	---------	----	----	-------

実習教員部長 中村 光夫 様

2021年度 ブロック活動報告書

ブロック名	南 信	代表者名	田中律子
-------	-----	------	------

今年度、当ブロックは下記のように活動しましたので、会計書類を添えて報告します。

実施日	月	日( )~	日( )	会場	参加人数
	2月	5日(土)			
2月5日(土)に開催予定で計画を立てておりましたが、オミクロン株の拡大により中止としました。					
内容					

◆申し込み、引継ぎ事項など

●会計報告

収入	前年度繰越金	¥1,605	会議費	
	本部補助金	¥3,131	旅費	
	個人負担金		事務費	¥1,791
			郵送代	¥1,340
	合計(A)	¥4,736	合計(B)	¥3,131

次年度繰越金(A-B)	¥1,605
-------------	--------

★次年度副部長名

分会名	岡谷東	教科	理科	氏名	桜井 珠美 先生
-----	-----	----	----	----	----------

※この用紙の裏面に領収書等のコピーを貼付し、早めに部長まで提出

実習教員部長 中村 光夫 様

2021年度 ブロック活動報告書

ブロック名	中 信	代表者名	白鳥 大智
-------	-----	------	-------

今年度、当ブロックは下記のように活動しましたので、会計書類を添えて報告します。

実施日	2月 2日(水)~	18日(金)	会場	書面にて開催	参加人数
※コロナ禍のため、書面にて開催 1 学習交流集会について できれば対面での開催を。(遠方の人のオンラインもあり) 2 来年度、要求書に盛り込む内容について ・ 賞金引上げ、2級任用の年齢制限撤廃。(理科免許所持者を2級昇任基準1の適用範囲外であることを確認してほしい。職の教職調整額について改善を) ・ 職名。職務や労働条件の周知徹底。 ・ 長く講師を続けている方の採用 (講師枠などであれば) ・ 免許講習は計画的に ・ 新規採用者を実習教員が複数いる学校へ配置するなど、支える仕組みを。(若年枠採用者の退職も目立つ。配置に配慮が必要では?) ・ 学科改編に伴う定数減については機械的に行わないこと ・ 理振の4万円以上という縛りを無くして欲しい。 3 その他 ・ 組合員が減り役員選出が大変。時間割にないので毎年何らかの役が来る。					
内容					

◆申し込み、引継ぎ事項など

・ 役員の先生方にはコロナ禍の中御尽力いただきありがとうございます。その時の状況でできることを柔軟にやってくれないのかなあと思います。ハイブリッドはありだと思います。(自宅には環境がないので、土日開催の場合、直接会場へ参加する以外は難しいですが)

・ 来年度は少しでもみんなが集まれる状況になることを願っています。

●会計報告

収入	前年度繰越金	¥0	会議費	¥0
	本部補助金	0	旅費	¥0
	個人負担金	¥0	事務費	¥0
	合計(A)	¥0	合計(B)	¥0

次年度繰越金(A-B)	
-------------	--

★次年度副部長名

分会名	梓川	教科	理科	氏名	白鳥 太智
-----	----	----	----	----	-------

2021年度 支部活動報告書

支部名	高水・須坂支部	支部長名	湯本 政徳
-----	---------	------	-------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内 容	会 場	参加人数
「コロナの影響で活動できなかった」				

◆申し送り、引継ぎ事項など

★次年度支部長名

分会名	飯山	教科	理科	氏名	粕谷 由貴子
-----	----	----	----	----	--------

2021年度 支部活動報告書

支部名	長水	支部長名	田中 壘
-----	----	------	------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内 容	会 場	参加人数
コロナ禍のため参集せず、必要なことはメール等で確認しました。				

◆申し送り、引継ぎ事項など

★次年度支部長名

分会名	北部	教科	理科	氏名	大日方夕希
-----	----	----	----	----	-------

2021年度 支部活動報告書

支部名	更埜	支部長名	桑原 浩子
-----	----	------	-------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内 容	会 場	参加人数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度同様、今年度も会議を開催する時期にコロナの感染が拡大し、会議を行うことができなかった。意見・要望の集約、各打合わせ、連絡等はメールで行った。</li> <li>・各教科の研究活動は個人で行った。</li> </ul>				

◆申し送り、引継ぎ事項など

★次年度支部長名

分会名	屋代	教科	理科	氏名	西村 明巳
-----	----	----	----	----	-------

2021年度 支部活動報告書

支部名	上小支部	支部長名	下里 佐智子
-----	------	------	--------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内 容	会 場	参加人数
<ul style="list-style-type: none"> <li>支部会は開催できませんでした</li> <li>・オンライン会議を開くことができないか、もう少し検討すればよかった。次年度も今年度のような状況が続くのであれば、検討してみてください。</li> <li>・役員の引き受け手を考えると輪番が機能しておらず、実質2校で交代している。講師の方にも輪番を守ってもらうべきか、できる学校が引き受ける現状でいいのか、意見交換ができればいいと思う。</li> </ul>				

◆申し送り、引継ぎ事項など

★次年度支部長名

分会名	丸子修学館高校	教科	農業	氏名	倉石男旗 先生
-----	---------	----	----	----	---------

## 2021年度 支部活動報告書

支部名	佐久	支部長名	小海清二郎
-----	----	------	-------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内容	会場	参加人数
		今年度、総会や懇談会などは行いませんでした。		

◆申し送り、引継ぎ事項など

★次年度支部長名

分会名	佐久	教科	農業	氏名	小海清二郎
-----	----	----	----	----	-------

## 2021年度 支部活動報告書

支部名	諏訪	支部長名	三浦 幸子
-----	----	------	-------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内容	会場	参加人数
6/4 9/28	支部代表者会 (書面開催) 支部連絡会	今年度活動計画議案書審議 活動報告 来年度役員について(確認)	岡谷南	5名 5名

◆申し送り、引継ぎ事項など

支部総会は開催できませんでした。

★次年度支部長名

分会名	諏訪実業	教科	理科	氏名	百瀬 文子
-----	------	----	----	----	-------

## 2021年度 支部活動報告書

支部名	上伊那	支部長名	笹川かをり
-----	-----	------	-------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内容	会場	参加人数
3/29	支部総会	今年度活動報告 来年度役員体制 情報交換	ZOOM	5
4/15	臨時支部会議	22年度役員決定について	ZOOM	7

◆申し送り、引継ぎ事項など

懸案事項の支部代表者は、2022年度より再考のうえ選出のブロックを変更しました。今後、周り順等さらなる検討が必要。

★次年度支部長名

分会名	伊那北	教科	理科	氏名	川越香世子 先生
-----	-----	----	----	----	----------

## 2021年度 支部活動報告書

支部名	下伊那	支部長名	中塚みね子
-----	-----	------	-------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内容	会場	参加人数
4/19	下伊那支部専門部会	体制づくり 活動計画、予算案	下伊那農業高校 稲丘会館	4
6/11	第1回 支部総会	2020年活動報告、会計報告 2021年活動計画、予算 議案書について 支部の課題等	飯田OIDE長姫高校 応接室	11
8/4	支部学習会	UVプリンターで画像を印刷 マグカップ作成	飯田OIDE長姫高校 FA実習室	10

◆申し送り、引継ぎ事項など

○活動の反省

- ・支部の先生方のご支援ご協力を頂きながら、十分ではなかったが活動ができた。
- ・支部学習会の開催をコロナの影響の少ないだろう夏季休業中に設定したが、相変わらず状況はよくなかった。学習会は多くの先生の参加で有意義であった。
- ・全員が揃うことは難しいが、情報交換のための機会をできるだけ取っていきたくて思った。
- ・コロナの状況が厳しい中でも、理科の先生方は研修会を開催していただいている。今年度は、活動報告を村松先生(飯田OIDE長姫)にいただいた。
- ・第2回支部総会は書面での報告とした。

○今後の課題および申し送り、引き継ぎ事項

- ・昇給に関わる認定講習等、該当者にわかりやすくできるような働きかけていく。
- ・更なる採用増による正規職員配置と、講師経験者の積極的採用を訴えていく。
- ・実習教員呼称の周知や、現場での定着に引き続き努力する。

○支部の今後の課題について

- 1 支部長が続けられなくなったときどうするか申し合わせておきたい  
支部長のいる学校に組合員が複数いれば支部長の代理を出す。  
支部長のいる分会に代理がいなければ、次年度の支部長候補にお願いするなど
- 2 支部長の輪番を「飯田→(風越・松川・阿智・阿南)→下農→OIDE長姫」から  
「(飯田・風越・松川・阿智・阿南)→下農→OIDE長姫」に変更したい。  
※ 組合員が減少している中で、役員の輪番の見直しが必要になっている。

★次年度支部長名

分会名	飯田風越	教科	理科	氏名	塩澤 直美
-----	------	----	----	----	-------

実習教員部長 中村 光夫 宛

実習教員部長 中村 光夫 宛

2021年度 支部 活動報告書

2021年度 支部 活動報告書

支部名	木曾	支部長名	佐藤 野乃麿
-----	----	------	--------

支部名	松筑支部	支部長名	清水 尚之
-----	------	------	-------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内容	会場	参加人数
		総会を開催できませんでした。 電話にて分会代表の方と打合せしました。		

月/日	会議名	内容	会場	参加人数
		コロナ禍のため会議等は実施できませんでした。 メールにて連絡や報告をおこないました。 また、ブロック総会についても書面決議にて実施しました。		

◆申し送り、引継ぎ事項など

◆申し送り、引継ぎ事項など

支部の輪番表を更新しました。各分会の代表者に送付してあるので、  
来年度以降は円滑に役員を決めることが出来ると思います。

★次年度支部長名

★次年度支部長名

分会名	木曾青峰	教科	理科	氏名	江崎 奈緒美
-----	------	----	----	----	--------

分会名	塩尻志学館	教科	理科	氏名	上松 文枝
-----	-------	----	----	----	-------

2022年2月25日

実習教員部長 中村 光夫 宛

2021年度 支部 活動報告書

支部名	安曇	支部長名	栗田 靖子
-----	----	------	-------

今年度、当支部は下記のように活動しましたので報告します。

月/日	会議名	内容	会場	参加人数
6/17	支部総会	定期大会(2022)	池田工業	5

◆申し送り、引継ぎ事項など

今年度活動は大町岳陽1名、池田工業4名でした。  
(南農・徳商は活動休止)

★次年度支部長名

分会名	大町岳陽	教科	理科	氏名	松井 友里
-----	------	----	----	----	-------

## 2022年度 活動方針（案）

### 1. 基本方針と重点

世界中が未知のウイルスに震撼した「コロナ禍」によって、学校のあり方をあらためて考えることになりました。2021年度全教実習教員部第33回定期総会では「コロナ禍が及ぼす実験・実習教育への影響」について「保護者の収入減により余儀なくアルバイトをして、家計を支えねばならぬ子どもに対しての補習が実施出来なかった」「感染してしまった子どもへの誹謗中傷が酷くメンタルケアがうまく出来なかった」「いつ子どもたちが登校出来るのか、いつ実習が再開出来るのか、明日が見えない状況の中、再び子どもたちに会える日を信じ、朝から晩までひたすら農場管理に忙殺され心身ともに疲弊してしまった」などの深刻な現状が赤裸々に語られました。今、私たちには、職場を基礎に、学校が本来あるべき姿についても一度教員間で協働し、子どもたちの複雑な思いに向き合い、ていねいに声を聴きとり、教育について子どもたち・保護者・地域の方々と共に語り合い、知恵を出し合うことが求められています。

一方、長野高教組実習教員部をとりまく情勢では、2018年度末に県が呼称の使用に関する見直しを一方向的に通告してきました。これまでの交渉の合意経過・内容を破棄することは断じて許すことはできません。合意内容の完全回復とさらなる見直しを行わないことを要求します。また、2017年度から導入された専門科2級昇任基準の導入から5年を経過し、現場における課題・問題を丁寧に集約し、制度改善のための運動を推し進める必要があります。また、新採者及び該当者に対する「昇任制度」の周知徹底を引き続き県に強くはたらきかけていくとともに、免許法認定講習の充実・改善を共に考え、要望していくことも重要です。

採用に関する問題では、2022年度における欠員補充の講師数は47名にのぼり、依然として実習教員全体の約20%を占めており、現場に様々な負担をもたらしています。私たちは今年度も、現場において常勤講師として職名こそ違えど正規職員と分け隔てなく尽力されている先生方に対する最大限のバックアップとさらなる採用増を強く要求していきます。また、若年者選考を含めた新規採用者への必要に応じた支援や校務に必要な研修の開講を引き続き要求していきます。

また、現場に目を向けると、コロナ禍に起因した教育に対する影響は、様々な問題を引き起こしていることは言うまでもありません。実験・実習現場においても、安全・安心はもちろん「3密」に配慮した環境づくりと更に課題が多くなっています。授業のあり方や、実験・実習環境をより整備していくことが急務となっています。

併せて、キャンパス校への理科実習教員の未配置、施設・設備の老朽化や需要費の削減、耐震化の不備など様々な問題が県内各地より報告されています。私たちは、労働条件の改善と同時に、実験・実習教育の充実と教育条件整備の取り組みも積極的にすすめます。

現在、長野高教組実習教員部には、「昇任制度」の改善・呼称問題をはじめ様々な問題・諸課題が顕在しています。そのような問題・諸課題解決へ向けての第一歩は、教科の垣根を越えて、まず組織全体で「なぜ・ではどうしたら」という問題・課題・意識の共有を行うことです。

今後、私たちの要求実現に向けて、声をあげる前段階として、まず自分たちの足元を固め、今一度、私たち自身が制度及び要求のポイントを深く理解し、組織全体として問題・意識共有し、『実習教員のしおり』を最大限に活用し、どの子にもゆきとどいた実験・実習教育の充実と保障がなされるよう全力を尽くします。

## 【活動の重点】

- (1) 「実習助手」制度を廃止して、教諭に一元化する制度改革実現に向けて取り組みます。
- (2) 「実習教員」の賃金改善を要求します。
- (3) 「高校標準法」に則り、職場の実態に見合った実習教員の配置を要求します。
  - ① 実習教員採用選考の継続的な実施と採用増による欠員解消を要求します。
  - ② 高校再編に伴い、実習教員の配置数を減らさないことを要求します。
  - ③ 高校再編に伴い、未配置となっている学校への配置を要求します。
- (4) 高校再編に伴うキャンパス校での実習教員定数の確保を要求します。
- (5) 教諭（実習担任）への「昇任制度」の運用・改善に取り組みます。
  - ① 専門科実習教員における昇任要件の改善を要求します。
  - ② 理科実習教員における昇任要件の改善を要求します。
  - ③ 免許法認定講習の充実と「昇任制度」の改善に取り組みます。
- (6) 教諭（実習担任）への「昇任制度」について新採者及び該当者に周知するよう要求します。
- (7) 免許法認定講習の実施について、全教科科目の実施を要求します。特に専門科に係る科目については、対象者の需要に基づいた講座の開設を要求します。
- (8) 実習教員としての自主研修に取り組むとともに、研修制度の充実を要求します。
- (9) 「実習教員」・「教諭」という呼称を使用する合意内容の完全回復と、さらなる見直しを行わないことを要求します。
- (10) 全県・ブロック・支部それぞれの段階での学習・交流活動に力を入れ、組織拡大・強化を図ります。
  - ① 「実習教員部ニュース」を発行し、情報宣伝活動を活発にします。
  - ② 学習交流集会をはじめとした学習交流活動を充実させます。
  - ③ 新採者・未加入者・青年教職員への組合加入を積極的に呼びかけます。

## 2. 要求と課題

### (1) 賃金・労働条件に関する要求

- 1) 教育職(二)表1級の号俸加算については、2006年度給与構造改革以前の加算号俸数に戻すこと。
- 2) 実習教員の2級昇任要件の在職年数（高卒18年以上、短大卒16年以上、大卒14年以上）を引き下げること。
- 3) 理科実習教員の2級昇任基準について（「実習助手及び寄宿舎職員の昇任に関する確認書」（2011年4月1日適用）における昇任要件より）
  - ① 基準(1)および基準(2)の年度年齢を撤廃すること。
  - ② 基準(1)のウ在職年数に講師経験を認めること。
  - ③ 講師期間においても、基準(1)のア講習会及びイ認定講習の受講並びに単位修得を認めること。
  - ④ 基準(1)のア講習会及びイ認定講習を、講習会及び認定講習を引き続き計画的に開講すること。
- 4) 専門科実習教員の免許法認定講習の内容を充実させ、県外での受講とならないよう配慮し、対象者の需要に基づいた講座を引き続き開講すること。
- 5) 教科及び学校運営上必要な資格取得費用は公費で賄うこと。また、取得にかかる講習等への参加に関しては職務専念義務免除の扱いとすること。
- 6) C4thを用いた勤務時間の把握については、実習教員の勤務実態を踏まえたものにする。

### (2) 身分確立・職務の明確化に関する要求

- 1) 長野県教育公務員としての職務を明確にするとともに、学校運営上の業務に制約を加えないこと。
- 2) 実習教員を教諭一元化するための「制度改革」（学校教育法及び高校標準法改正）実現に向けて、長野県教育委員会としても文部科学省をはじめ関係機関に働きかけること。
- 3) 職名「実習助手」を「実習教員」に、「教諭（実習担任）」を「教諭」とすること。
- 4) 呼称の運用について、管理職及び学校全体への周知を徹底し、定着を図ること。

- 5) 交渉での合意内容を尊重し、「実習助手の呼称の取り扱いについて」（2019年3月）を撤回すること。
- 6) 実習教員の「昇任制度」について、新規採用者を含むすべての該当者に『実習助手の昇任要件について』（高校教育課作成）を配布し、説明をすること。
- 7) 新規採用者や常勤講師の任用時には、労働条件等を文書で明示することを周知徹底すること。
- 8) 実験・実習に関する各種講習会（センター主催の研修等）を充実させること。また、現場の実情に合った薬品の取り扱い・管理に関する講習会を引き続き開催すること。
- 9) 新規採用者に対する研修制度を充実させること。
- 10) 学科改編や人事異動に伴い担当教科の変更がある場合については、本人の意向を十分に尊重して身分を保障すること。また、新たな担当教科に関わる研修機会を保障すること。
- 11) 免許法認定講習など各種講習や研修がコロナ禍の影響等で実施が困難になった場合には、必ず代替措置を講ずること。また、開講される認定講習などの情報は早く公表するとともに、各校にも提供すること。

### （3） 人事に関する要求

- 1) 実習教員の採用選考を全教科で実施するとともに、採用人数を増員し、計画的に欠員の解消をめざすこと。
- 2) 新規採用においては、教科の専門性を重視すること。そのために、当該教科の教員普通免許状所有者（取得見込み者含む）の採用や、採用選考に「講師経験者枠」を創設するなどして、講師経験者を積極的に採用すること。
- 3) 実習教員の配置は正規職員を原則とし、やむを得ず臨時的任用となる場合も、全体の人事異動の妨げとならないように配慮すること。
- 4) 初任者の母校勤務は避けること。
- 5) 常勤講師の任用については、当該教科の専門的知識を有した人を任用すること。
- 6) 少数学科の実習教員に対する「人事異動要綱」の機械的・画一的な適用を行わないこと。
- 7) 人事異動に伴う、担当教科・科目の変更や本務外配置を行わないこと。
- 8) 学科改編や統廃合等に伴う定数減については、機械的に行わないこと。
- 9) キャンパス校やサテライト校に実習教員を配置すること。
- 10) 高校標準法に定められた配置数に満たない学校においては、適正な定数の確保に努めること。また、学級減に伴う実習教員の定数減を機械的に行わないこと。
- 11) 農業・工業においては、施設の実情に応じた加配も含め、高校標準法に基づく定数を配置すること。
- 12) 再任用制度の運用にあたっては、希望者全員を再任用し、勤務先については本人の希望を尊重すること。

### （4） 教育条件整備に関する要求

- 1) 需用費については現場・地域の実態に見合った増額を行うこと。また、備品が耐用年数を経過したものについては速やかに更新できるよう予算措置を講ずること。  
加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実験・実習の回数が増加している実情に鑑み、人的配置や予算措置を積極的に講ずること。
- 2) 普通教室に整備された ICT 環境や空調設備を、必要に応じて実習室にも早急に整備すること。
- 3) 被服貸与は、4月1日付けで一律に完全実施すること。併せて、実験・実習教育に携わる非常勤講師についても被服貸与を適切に講ずること。
- 4) 理科実習教員の白衣の購入価格について、防災・抗菌・耐薬品など、安全かつ使い勝手のよいものを常識の範囲で購入するため、2017年の交渉で確認されたとおり「事務指導票の標準単価 3,000 円」が上限ではないことを各校の事務担当者へ周知し徹底すること。
- 5) 薬品について
  - ① 薬品庫の改修等については、当該校担当者と充分話し合い、利用しやすいものにすること。
  - ② 廃液・薬品を処理するための予算配当を引き続き行うこと。
  - ③ 薬品の取り扱い及び管理方法・受払簿の様式等について現状をふまえて研究すること。
  - ④ 学校内にある放射性物質については、該当校の意向を尊重しながら、関係省庁と連携を図り安全に管理できるようにすること。また、これに関する費用は、該当校の負担としないこと。
- 6) 実験・実習に関わる施設・設備に、耐震化のための独自予算措置を講ずること。

- 7) 生徒の安全を第一に鑑み、実験・実習に関わる施設・設備についての老朽化及び安全性についての状況調査を毎年定期的実施し、当該校及び長野県教育委員会がきちんと把握すること。
- 8) 生徒の安全を第一に鑑み、老朽化が著しく、更に危険性の高い施設・設備・機器については、国からの「施設環境改善交付金」等を適切に活用し、早急に修繕・改修・機器の更新を実施すること。特に、ドラフトなどの換気装置を適切に使えるように整備すること。
- 9) 休日勤務などによる代休が必ず確保できるよう周知・徹底すること。
- 10) 危険を伴う作業については安全確保の観点から複数の職員で対処することができるような条件整備をすすめること。
- 11) 実習教員の業務内容について理解し、妊娠中の業務軽減のための非常勤職員の配置について、実習教員においても是非とも適用すること。また、業務内容を限定せず妊娠判明時から産前休暇に入る全期間に適用すること。
- 12) 校舎改築等に伴う引っ越し業務については、個人に負担がかからないように計画的に進めること。また、その業務が時間外に及ばないように人的配置を行うこと。

### 3. 活動の進め方

#### (1) 賃金・生活条件

- 1) 年度当初、「要求アンケート」を実施して支部総会・定期大会で議論し、要求書を練り上げ、県教委に提出します。

#### (2) 身分確立・権利拡大・職場の民主化

- 1) 「制度改革」を実現するために、全教や目的を同じくする団体との連帯と協調を図り、署名等を用いて、関係機関や団体に積極的に働きかけていきます。
- 2) 専門的力を高めるために、あらゆる研修の機会を捉えて積極的に参加します。
- 3) 各教科から、それぞれの要求・問題を明確にし、その実現・解決に向けて検討していきます。
- 4) 学校要覧・各種名簿等の表記の適正化と呼称の定着を図ります。

#### (3) 人事・組織強化

- 1) 人事交流については、自主的・民主的に推進できるよう努めます。
- 2) 未組合員に組合加入をはたらきかけます。とりわけ新規採用者、講師の皆さん、青年教職員を重点に組織の拡大・強化を図ります。
- 3) 分会・支部・ブロック活動を活発化し、団結を強めます。
- 4) 学習交流集会を充実させ、楽しく意義あるものとなるよう、計画・実施します。
- 5) 「実習教員部ニュース」を発行し、活動内容が広くアピール出来るよう努力します。
- 6) 問題を抱える職場には積極的に関わり、問題の解決に努めます。
- 7) 教諭任用者の要求を結集し、豊富な経験を学ぶとともに課題を交流します。
- 8) 組織の団結強化のため、「実習教員部名簿」を作成し活用します。
- 9) 次年度役員(県、支部、分会)体制の早期確立に努めます。

第3号議案

2021年度 会計決算(案)

項目	予算額	支出額	残 額	備考	2020決算
大会費	80,000	80,600	-600	旅費、議案書印刷	0
会議費	730,000	359,310	370,690	役員・支部長会 内訳 256,000	297,300
				県教委交渉 内訳 90,800	
				全教全国・ブロック学習会 内訳 12,510	
学習交流集会	100,000	90,600	9,400	ブロック学習会ハイブリッド	6,870
活動補助費	120,000	3,131	116,869	各ブロック 40,000* 4 →ほぼ中止	19,834
通信費	55,000	51,681	3,319	専門部専用携帯電話	52,862
予備費	115,000	0	115,000		0
合 計	1,200,000	585,322	614,678		376,866

2022年度 会計予算(案)

項目	前年度予算額	予算額	前年度予算比	備考
大会費	80,000	80,000	0	ハイブリッド開催 旅費、通信費 ほか
会議費	730,000	570,000	-160,000	役員会・支部長会 450,000
				県教委交渉 100,000
				全教全国・ブロック集会 (1人ずつ) 20,000
学習交流集会費	100,000	60,000	-40,000	中信地区 ハイブリッド開催
活動補助費	120,000	120,000	0	各ブロック 30,000* 4
通信費	55,000	52,000	-3,000	専門部専用携帯電話 ほか
予備費	115,000	18,000	-97,000	支部活動補助など、流動的に
合 計	1,200,000	900,000	-300,000	

参考	大会	60,000円 (通信費 約30人分)+印刷代など
	支部長会 1回 約90000円	360,000円 (年 約4回分)
	役員会 1回 30700円	90,000円 (年 約3回分)
	全国集会	10000円 (全教から一人分補助。)
	ブロック集会	10000円 (全教から一人補助。)
	学習交流集会	60,000円 (講師 30000円。通信費 約30人分)



# 実教部定期大会 議案書

## 付属資料集

## 2022年度 実習教員部 役員名簿

役 職	支 部	氏 名	教 科	分 会	TEL	FAX
部 長		片 桐 和 俊	農 業	下 伊 那 農 業	個人 090-9961-6378 (専用携帯 080-9404-2161)	
県執行委員		深 井 有 紀	理 科	屋 代	026-272-0069	026-261-3450
副部長	北 信	古 川 智 恵	理 科	中 野 西	0269-22-7611	0269-24-1253
	東 信	黒 澤 瑞 穂	理 科	丸 子 修 学 館	0268-42-2827	0268-41-1050
	南 信	桜 井 玲 美	理 科	岡 谷 東	0266-23-3161	0266-21-1016
	中 信	白 鳥 太 智	理 科	梓 川	0263-92-2119	0263-91-1027
支部長	高水・須坂	粕 谷 由 貴 子	理 科	飯 山	0269-62-4175	0269-81-1072
	長 水	大 日 方 夕 希	理 科	北 部	026-253-2030	026-253-1025
	更 埴	西 村 明 巳	理 科	屋 代	026-272-0069	026-261-3450
	上 小	倉 石 男 旗	農 業	丸 子 修 学 館	0268-42-2827	0268-41-1050
	佐 久	小 海 清 二 郎	農 業	佐 久 総 ( 浅 間 )	0267-67-4010	0267-66-1452
	諏 訪	百 瀬 文 子	理 科	諏 訪 実 業	0266-52-0359	0266-57-2430
	上伊那	川 越 香 世 子	理 科	伊 那 北	0265-72-2221	0265-76-8969
	下伊那	塩 澤 直 美	理 科	飯 田 風 越	0265-22-1515	0265-22-8390
	木曾	江 崎 奈 緒 美	理 科	木 曾 青 峰	0264-22-2119	0264-21-1056
	松筑	上 松 文 枝	理 科	塩 尻 志 学 館	0263-52-0015	0263-51-1310
	安 曇	松 井 友 里	理 科	大 町 岳 陽	0261-22-0024	0261-23-5750
教文(理科研究会)担当						
担当役員	副委員長	上 條 晋	長野高教組 本 部 実教部専用メール jikkyo.nagano-h @educas.jp		026-234-2216	026-234-2219
	書 記	下 平 祥 之				
	書 記	河 西 綾				

## メッセージ

長野高教組実習教員部第60回定期大会にあたり、全教実習教員部から激励と連帯の挨拶をおくり  
ます。長野高教組実習教員部の皆様が、憲法をいかした民主教育と実験・実習教育の充実・発展、  
実習教員の権利拡充に向けて日々奮闘されていることに、心から敬意を表するものです。

2月24日のロシアによるウクライナ侵略から3か月が経過しようとしています。ロシアによる攻撃  
は国連憲章違反の侵略であり、国際人道法に反する戦争犯罪です。さらにプーチン大統領が核兵器  
の先制使用にまで言及していることは、核兵器廃絶にむかう歴史の潮流を無視する断じて許し難い  
行為です。世界中の多くの人々と連帯し、「戦争反対」「ウクライナからの即時撤退」の声を上げ  
続け、一刻も早い平和的解決を求めることが重要です。一方、国内ではウクライナ危機に乗じ、改  
憲勢力から「9条で平和が守れるのか」「核兵器の共有を」「敵基地攻撃能力を持つ」「防衛費を  
GDP2%に」など、憲法攻撃や大軍軍拡への策動が執拗に繰り返されています。今とりくみがすす  
められている「憲法改悪を許さない全国署名」を大きく広げ、7月の参議院選挙では改憲勢力が3分の  
2以上の議席を占めることを阻止しなければなりません。

学校現場では、コロナ禍のもと前倒しですすすめられた「GIGAスクール構想」が様々な課題をもた  
らしています。ICTを有効に活用すること自体は意義のあることです。しかし、一律に拙速なやり  
方は、子どもの実態や成長発達を無視し、現場の教職員にも保護者にも重い負担を背負わせるもの  
です。私たちは子どもたちの権利を保障する立場から、冷静に本質をみていくことが必要です。そ  
してやはりふやすべきは軍事費ではなく、教育予算だとの声を上げていかなければなりません。

さて、この間全教は、コロナ禍の中でもあきらめずに声を上げ続け、重要な前進をかちとりまし  
た。義務標準法改正、特別支援学校の設置基準策定実現、また全国連帯の粘り強い運動により、超  
過勤務を覆い隠す「1年単位の変形労働時間制」も実質的な導入を阻止しています。5月11日には教  
員免許更新制を廃止する法案が成立しました。現場の教職員の声を力に廃止に追い込んだことは大  
きな成果です。一方で、教員の研修履歴を記録・管理することがすすめられようとしています。教  
育の自由を守るために自主的研修を尊重させ、研修権を広げることが重要です。

このような前進は、職場の声と幅広い共同の運動により可能となったものです。今年度は、長年  
の長時間過密労働の抜本的解消をめざすとりくみをいっそう広げていく年です。文科省が勤務実態  
調査を行う予定ですが、国の調査で明らかにされない部分を明らかにするために全教の実施する勤  
務実態調査を成功させ、「給特法」改正要求実現をめざしていきます。

全教実習教員部も、よりよい働き方とともに長年の要求である「制度改革」の実現をめざし、実  
験・実習教育のいっそうの充実のために奮闘する決意です。また、今年度初めてとりくむオンライ  
ン学習会等を通して仲間の輪を広げていきます。

最後に、本日の大会が皆様の豊かな討論で成功されますことを心より祈念し、長野高教組実  
習教員部の運動のさらなる前進を願い、メッセージといたします。

2022年6月26日

全日本教職員組合

中央執行委員長 宮下 直樹  
実習教員部長 魚住 知一

分会長 様

長野県高等学校教職組合  
執行委員長 細尾 俊彦  
実習教員部長 片桐 和俊

## 実習教員の「呼称」の定着にむけた取り組みについて

新年度、分会役員を引き受けられた皆さん、ご苦労様です。

さて、長野高教組実習教員部では、「実習助手」という職名が補助的なイメージを生み、職場内や生徒への指導に弊害をもたらすため、教育活動をスムーズに行えるように県教委高校教育課との話し合い（2011年）により、法令上の制約のある場合を除いて、実習助手＝「**実習教員**」、教諭（実習担任）・実習担任教諭＝「**教諭**」という“呼称”の使用を認めさせました。

学校では、さまざまな名簿が作成されたり、職員紹介がされる場面がありますが、学事関係職員録をはじめとする各種名簿や、職員間でも生徒へ“助手さん”として紹介されるなどの事例が報告されており、さらに浸透・定着を図っていく必要があります。

信濃教育会発行の「学事関係職員録」については、例年4月に事務室で名簿データを作成し、信濃教育会に提供することから、提供データ作成あたっての学校長・事務担当者へのお願い文書を作成いたしました(裏面)。

つきましては、下記のことについてお願いいたします。

### 記

- 1 本日送付した学校長・事務担当者宛ての封筒を学校長にお渡しく下さい
- 2 今後とも「実習教員」・「教諭」という呼称の定着にご尽力いただきますようお願いいたします。

学 校 長  
教 務 長  
事 務 長  
名簿作成担当者

} 様

長野県高等学校教職組合  
執行委員長 細尾 俊彦  
実習教員部長 片桐 和俊

## 実習助手および実習担任教諭の呼称等に関わる確認と名簿等の作成について

春風の候、年度末のお忙しい毎日をお送りのことと存じます。貴職におかれましては日頃、私どもの活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、「学事関係職員録」での実習教員の記載につきましては、平成23年の高教組と県教委高校教育課との話し合いによりご配慮をいただいているところですが、その後時間の経過とともに表記に不統一も見られるようになりました。

つきましては、統一的な記載について御配慮いただくようお願いいたします。

なお、参考として下に掲載しました「実習助手の昇任要件について」（長野県教育委員会事務局高校教育課作成）では、「呼称は、人事管理に関わる書類、県立学校職員服務規程等において職名を記載することが義務付けられている書類、その他法令上特別な効果を生じる場合は使用することができない」とされています。「学事関係職員録」は「法令上特別な効果を生じる」性格の発行物ではないと考えられるため、高教組では、人事発令上の職名にとらわれることなく、呼称を使用できるものであると認識していますことを申し添えます。

### 記

#### 1 「長野県学事関係職員録」での掲載について、下記のように統一的な記載にご配慮ください。

- ・ 実習担任教諭→「諭」、実習助手→「実」とする。
- ・ 実習助手についても教科内に「実」として記載する。
- ・ 教科内の掲載順序は、原則50音順とする。

#### 記載の不統一の例

- ・ 昇任しているのに、「諭」ではなく、「実」となっている。
- ・ 昇任した実習助手について、諭（実）と記載されている。
- ・ 教科内の掲載順序が50音順となっていない。

#### 2 校内における各種名簿について

校内で作成される様々な名簿、書類につきましても、呼称の使用についてご配慮をお願いいたします。

#### 参考 長野県教育委員会作成「実習助手の昇任要件について」より

- ・ 実習助手が昇任し、2級に格付けされた場合、長野県立高等学校管理規則第13条に規定される「実習担任教諭」となり、人事発令において「教諭（実習担任）」となる。
- ・ 「実習助手」は法律上及び人事発令上の職名だが、呼称として「実習教員」の使用を認めている。
- ・ 呼称は、人事管理に関わる書類、県立学校職員服務規程等において職名を記載することが義務付けられている書類、その他法令上特別な効果を生じる場合は使用することができない。

# 主な書類に関する呼称(実習教員)利用の可否一覧

【2014.4.4 高校教育課より提示資料(一部加筆)】

番号	書類名称	使用 又は 作成者	可否	法令上特別な効果を生じる恐れがないもの		人事に関わる書類 ①	法令等で職名記載 が義務付けられてい る②	法令上特別の効果が生じるもの ③	
				単に職・氏名が記載 されているもの	専ら組織内で使用さ れる文書			職員の身分等に関 する文書	職員の権利義務に 関する文書
1	人事異動報道発表資料	教委	可	○					
2	職場での呼称	職員	可	○					
3	名刺	本人	可	○					
4	座席表	所属	可	○					
5	回覧用紙	所属	可	○					
6	名札	本人	可	○					
7	各種文書における担当者の記載	本人	可	○					
8	起案文書	本人	可		○				
9	復命書	本人	可		○				
10	事務分担表	所属	可		○				
11	事務引継書	本人	可		○				
12	転勤職員の引継関係書類送付文	本人	可		○				
13	公務使用自家用車届 自家用車使用承認簿	本人	可		○				
14	公用車使用簿	本人	可		○				
15	物品購入伺	本人	可		○				
16	被服貸与簿	本人	可		○				
17	組織内公募に関する書類	本人	可		○				
18	2級昇格に係る研修の実施通知・決定通知	教委	不可					○	
19	教職員の自己申告による評価実施要項	教委	不可				○		
20	人事通知書	教委	不可			○			
21	宣誓書	本人	不可			○			
22	退職願	本人	不可			○			
23	処分関係書類	教委	不可			○			
24	人事記録カード	教委	不可			○			
25	在職証明書	教委	不可			○			
26	職員録(配置表)	教委	不可			○			
27	永年勤続表彰等の被表彰者名	教委	不可			○			
28	評価支援シート等	本人	不可					○	
29	事故報告、顛末書	本人	不可					○	
30	共済組合関係書類	本人	不可					○	
31	教職員互助組合関係書類	本人	不可					○	
32	公務災害関係書類	本人	不可					○	
33	着任届	本人	不可				○		
34	改印届	本人	不可				○		
35	免許状取得届	本人	不可				○		
36	学歴等取得届	本人	不可				○		
37	育児短時間勤務承認請求書 育児短時間勤務養育状況変更届	本人	不可				○		
38	深夜(時間外勤務)制限請求書	本人	不可				○		
39	育児又は介護の状況変更届	本人	不可				○		
40	職務専念義務免除承認願	本人	不可				○		
41	営利企業等従事許可願	本人	不可				○		
42	営利企業等離職届	本人	不可				○		
43	研修承認願(短期)	本人	不可				○		
44	研修承認願(長期)	本人	不可				○		

番号	書類名称	使用 又は 作成 者	可否	法令上特別な効果を生じる恐れがないもの		人事に関わる書類 ①	法令等で職名記載 が義務付けられている②	法令上特別の効果が生じるもの ③	
				単に職・氏名が記載 されているもの	専ら組織内で使用さ れる文書	職員の身分等に関 する文書	職員の権利義務に 関する文書	職員の権利義務に 関する文書	私人との法律上の関 係を発生させるもの
45	兼職等承認願	本人	不可				○		
46	兼職等離職願	本人	不可				○		
47	証人(鑑定人、参考人)出頭届	本人	不可				○		
48	ボランティア活動計画書	本人	不可				○		
49	療養休暇願	本人	不可				○		
50	介護休暇願	本人	不可				○		
51	休暇(欠勤)承認等状況報告書	本人	不可				○		
52	専従許可願	本人	不可				○		
53	専従許可取消願	本人	不可				○		
54	自己啓発等休業承認申請書	本人	不可				○		
55	育児休業承認請求書	本人	不可				○		
56	部分休業承認請求書	本人	不可				○		
57	育児休業(部分休業)養育状況変	本人	不可				○		
58	部分休業一部取消整理簿	本人	不可				○		
59	部分休業取得状況報告書	本人	不可				○		
60	出勤届	本人	不可				○		
61	大学院修学休業許可申請書	本人	不可				○		
62	大学院修学休業許可申請変更届	本人	不可				○		
63	受験結果報告書	本人	不可				○		
64	大学院修学休業許可取消願	本人	不可				○		
65	公務外旅行(転地療養)届	本人	不可				○		
66	特殊勤務手当整理簿	本人	不可				○		
67	契約書	本人	不可						○
68	旅行命令(依頼)、概算請求等	本人	内シス						
69	赴任旅費命令、概算請求等	本人	内シス						
70	週休日の振替簿	本人	内シス						
71	代休日指定簿	本人	内シス						
72	欠勤届	本人	内シス						
73	住居届	本人	内シス						
74	通勤届	本人	内シス						
75	単身赴任届	本人	内シス						
76	本籍変更届	本人	内シス						
77	扶養親族届	本人	内シス						

※内部事務総合システムにより申請を行うもの(上記68から77など)については、職名を記載することはないため特に問題にはならない。

※上記に記載のないケースについては、書類の性質上、上記の区分のいずれにあてはまるのかを個別に判断して決定する。

回 答 書

令和3年8月31日付けで要求のありましたことについては、次のとおりです。

要 求	回 答
<p>1. 賃金に関する要求</p> <p>(1) 教育職(二)表1級の号俸加算については、2006年度給与構造改革以前の加算号俸数に戻すこと。</p> <p>(2) 実習教員の2級昇任基準の在職年数(高卒18年以上、短大卒16年以上、大卒14年以上)を引き下げること。</p> <p>(3) 理科実習教員の2級昇任基準について(以下「実習助手及び寄宿舎職員の昇任に関する確認書」(2011年4月1日適用)における要件)</p> <p>① 基準(1)および基準(2)の年度年齢を撤廃すること。</p> <p>② 基準(1)のウ在職年数に講師経験を認めること。</p> <p>③ 講師期間においても、基準(1)のア講習会及びイ認定講習の受講並びに単位修得を認めること。</p> <p>④ 基準(1)のア講習会及びイ認定講習を、講習会及び認定講習を引き続き計画的に開講すること。</p> <p>(4) 専門科実習教員の認定講習の内容を充実させ、県外での受講とならないよう講座を引き続き開講すること。</p> <p>(5) 教科及び学校運営上必要な資格取得費用は公費で賄うようにすること。</p>	<p>1</p> <p>(1) 困難である。</p> <p>(2) 困難である。</p> <p>(3)</p> <p>① 困難である。</p> <p>② 困難である。</p> <p>③ 困難である。</p> <p>④ 引き続き努力する。</p> <p>(4) 努力している。</p> <p>(5) できない。</p>
<p>2. 身分確立・職務の明確化に関する要求</p> <p>(1) 教育職員としての職務を明確にするとともに、学校運営上の業務に制約を加えないこと。</p> <p>(2) 実習教員を教諭一元化するための「制度改革」(学校教育法及び標準定数法改正)実現に向けて、長野県としても文部科学省・全国校長会等に働きかけること。</p> <p>(3) 職名「実習助手」を「実習教員」に、「教諭(実習担任)」を「教諭」とすること。</p>	<p>2</p> <p>(1) 法令等に基づき対応していきたい。</p> <p>(2) 国の動向を注視したい。</p> <p>(3) 職名として認めることはできない。</p>

要 求	回 答
<p>(4) 呼称について、管理職への周知を徹底し、定着をはかること。</p> <p>(5) 交渉での合意内容を尊重し、「実習助手の呼称の取り扱いについて」（2019年3月）を撤回すること。</p> <p>(6) 実習教員の2級昇任制度について、新規採用者を含むすべての該当者に『実習助手の昇任要件について』（高校教育課作成）を配布し、説明をすること。</p> <p>(7) 新規採用者や常勤講師の任用時には、労働条件等を文書で明示することを周知徹底すること。</p> <p>(8) 実験実習に関する各種講習会（センター主催の研修）を充実させること。また、現場の実情に合った薬品の取り扱い・管理の講習会を引き続き開催すること。</p> <p>(9) 新規採用者の研修制度を充実させること。</p> <p>(10) 学科改編や人事異動に伴う担当教科の変更がある場合は、本人の意向を十分に尊重して身分を保障すること。また、新たな担当教科に関わる研修を保障すること。</p> <p>(11) 教員免許更新制度に関して、実習教員の免許更新のあり方について整理し周知をはかること。</p> <p>(12) 認定講習など各種講習や研修が新型コロナの影響等で実施が難しくなった場合は、代替措置を講ずること。また、開講される認定講習などの情報は早く公表するとともに、各校にも提供すること。</p>	<p>(4) 引き続き努力したい。</p> <p>(5) 社会情勢に即した見直しを行ったところである。</p> <p>(6) 該当者への周知については、引き続き努力する。</p> <p>(7) 引き続き努力したい。</p> <p>(8) 講習会の開催については、引き続き努力したい。</p> <p>(9) 引き続き努力したい。</p> <p>(10) 努力したい。</p> <p>(11) 対応している。</p> <p>(12) 認定講習は実施している。その他の講習や研修の実施、講座等の情報提供については努力したい。</p>
<p>3. 人事に関する要求</p>	<p>3</p>
<p>(1) 実習教員の採用選考を全教科で実施するとともに、大幅に採用を増やして欠員を解消すること。</p> <p>(2) 新規採用においては、教科の専門性を重視すること。そのために、当該教科の教員普通免許状所有者（取得見込み者含む）の採用や、採用選考に「講師経験者枠」を創設するなどして、講師経験者を積極的に採用すること。</p> <p>(3) 実習教員の配置は正規職員を原則とし、やむを得ず臨時的任用を配置する場合も、全体の人事異動の妨げとならないように配慮すること。</p> <p>(4) 初任者の母校勤務は避けること。</p>	<p>(1) 状況を見ながら判断したい。</p> <p>(2) 実習助手については、教員免許状の所持を要件としていない。</p> <p>(3) 努力したい。</p> <p>(4) 努力したい。</p>

要 求	回 答
<p>(5) 常勤講師の任用については、当該教科の専門的知識を持った人を任用すること。</p> <p>(6) 少数学科の実習教員に対する「人事異動要綱」の機械的・画一的な適用をしないこと。</p> <p>(7) 人事異動により、担当学科・科目の変更や本務外配置をさせないこと。</p> <p>(8) 学科改編や統廃合等に伴う定数減については、機械的に行わないこと。</p> <p>(9) キャンパス校やサテライト校に実習教員を配置すること。</p> <p>(10) 定数法上の実習教員数に満たない学校においては、定数の確保をすること。また、学級減に伴う実習教員の定数減は機械的に行わないこと。</p> <p>(11) 農業・工業においては、施設の事情に基づく加配も含め、法定数を配置すること。</p> <p>(12) 再任用制度の運用にあたっては、希望者全員を再任用し、職場については本人の希望を尊重すること。</p>	<p>(5) 努力したい。</p> <p>(6) 学校の実情に応じて対処している。</p> <p>(7) 努力したい。</p> <p>(8) 努力している。</p> <p>(9) 必要な職員の配置に努力したい。</p> <p>(10) 努力したい。また以下は、配慮したい。</p> <p>(11) 努力している。</p> <p>(12) 努力したい。</p>
<p>4. 教育条件整備に関する要求</p>	<p>4</p>
<p>(1) 需用費については現場・地域の実態にみあった増額を行うこと。また、備品の耐用年数を経過したものについては速やかに更新できるよう予算措置を講ずること。 加えて、コロナウイルス感染拡大防止のために実験実習の回数が増加している実情に鑑み、人的配置や予算措置を積極的に講ずること。</p> <p>(2) 普通教室に整備される電子黒板やWi-FiなどのICT環境やエアコンなどを実習室にも早急に整備すること。また、ドラフトなどの換気装置が適切に使えるように整備すること。</p> <p>(3) 被服貸与は、4月1日付けで一律に完全実施をすること。また、実験実習に携わる非常勤講師についても被服貸与を行うこと。</p> <p>(4) 理科実習教員の白衣の購入価格について、防災・抗菌・耐薬品など、安全かつ使い勝手のよいものを常識の範囲で購入するため、2017年の交渉で確認されたとおり「事務指導票の標準単価3000円」が上限ではないことを各校の事務担当者へ周知徹底すること。</p>	<p>(1) 努力している。</p> <p>(2) 努力したい。</p> <p>(3) 必要なものは再配当している。後段については困難である。</p> <p>(4) 事務長会議等通じて伝えたい。</p>

要 求	回 答
<p>(5) 薬品について</p> <p>① 薬品庫の改修等については、当該校と充分話し合い、利用しやすいものにする。</p> <p>② 廃液・薬品を処理するための予算配当を引き続き行うこと。</p> <p>③ 薬品の取り扱いおよび管理方法・受払簿の様式等について現状をふまえ研究すること。</p> <p>④ 学校内にある放射性物質については、該当校の意向を尊重しながら、関係省庁と連携をとって安全に管理できるようにすること。また、これに関する費用は、該当校の負担としないこと。</p> <p>(6) 実験実習の施設設備において、耐震化のための独自予算措置を講ずること。</p> <p>(7) 廃機器を処理するための予算配当を行うこと。</p> <p>(8) 休日勤務などによる代休が必ず確保できるようにすること。</p> <p>(9) 学校内の危険箇所の把握と改修をすすめること、また危険を伴う作業については安全のために複数の職員で当たることができるような条件整備をすること。</p> <p>(10) 妊娠中の業務軽減のための非常勤職員の配置について、全ての職種に適用すること。また、業務内容を限定せず妊娠判明時から産前休暇に入る全期間に適用すること。</p> <p>(11) 校舎改築等に伴う引っ越し業務については、個人に負担がかからないように計画的に進めること。また、その業務が時間外に及ばないように、人的配置を行うこと。</p>	<p>(5)</p> <p>① 基本的には標準図に基づいている。校舎改築の際には、当該校と充分話し合っ進めていきたい。</p> <p>② 必要に応じて再配当している。</p> <p>③ 必要に応じて研究していきたい。</p> <p>④ 努力している。</p> <p>(6) 困難である。</p> <p>(7) 必要に応じて再配当している。</p> <p>(8) 引き続き努力する。</p> <p>(9) 引き続き努力する。</p> <p>(10) 困難である。</p> <p>(11) 運搬処分費は予算措置をしている。日程等は校内で調整を図られたい。また以下については、困難である。</p>

# 長野高教組実習教員部規約

## 第 1 章 総則

- 第 1 条 この部は、長野県高等学校教職員組合実習教員部と称する。
- 第 2 条 この部は、長野県高等学校教職員組合規約第 13 条に基づいて設立される。  
この部は、本部を長野高教組本部におき、各支部実習教員部、並びに各分会実習教員部を設ける。
- 第 3 条 この部は、長野高教組の組合員である高等学校実習教員で構成される。
- 第 4 条 この部は、長野高教組の運動方針にのっとり、総ての実習教員の要求に基づく強固な団結のもとにその実現を図り、民主的な職場作りと組合活動の推進力となることを目的とする。

## 第 2 章 機関並びに役員

- 第 5 条 この部には、大会と支部長会、役員会の 3 機関をおく。
- 第 6 条 大会は、この部の最高決議機関であり、毎年 1 回開催する。但し、支部長会の決議があれば臨時に開催することができる。大会は以下の事を行う。  
1. 規約の決定及び変更 2. 実習教員部運動方針の決定 3. その他必要事項の決定
- 第 7 条 大会は、全員参加を原則として、参加者をもって大会を成立するものとする。
- 第 8 条 支部長会は、大会につぐ議決機関であり、支部長は以下のことを行う。  
1. 大会開催の要求 2. 大会で委任された事項の決定 3. 大会議案の検討  
4. 執行委員会に意見を具申し、諮問に答える。 5. その他必要なこと
- 第 9 条 支部長会は、各支部 1 名の実習教員代表及び部長、副部長、担当書記局員等により構成される。
- 第 10 条 役員会は執行機関であり以下のことを行う。  
1. 議決機関から与えられた事項の執行  
2. 大会及び支部長会議に提出する議案の作成  
3. その他緊急必要事項の処理
- 第 11 条 役員会は、実習教員部長、副部長、同担当書記局員等により構成される。
- 第 12 条 この部には、部長 1 名、副部長若干名をおく。その選出方法は書記局規定第八条による。  
(第八条 専門部は、執行委員会の決定にもとづき、業務上の調査研究をなし、また執行することができる。2 専門部に正・副部長をおく。正副部長は部員の互選による。)

## 第 3 章 補則

- 第 13 条 この規約の発行は、長野高教組の議決機関の承認をうけるものとする。
- 第 14 条 この部の経費は、長野高教組実習教員部費をもってあててを原則とする。
- 第 15 条 その他明記してない事項は、組合格約及び諸規定に準ずる。
- 第 16 条 この規約は、1975 年 6 月 22 日より施行する。

## 附則

規約一部改訂 1976 年 6 月 19 日。  
2019 年 6 月 27 日。

部名称変更 1993 年 2 月 実習職員部から実習教員部へ。

2022年度 教科別年齢分布一覧<正規職員(再任用のぞく)>

年度年齢	工業	農業	理科	商業	合計	年代別 小計
19	0	0	0	0	0	
20	0	0	0	0	0	工業
21	1	0	0	0	1	5
22	0	1	0	0	1	農業
23	1	1	0	0	2	7
24	1	1	1	0	3	理科
25	0	0	0	0	0	3
26	0	1	0	0	1	その他
27	1	1	0	0	2	0
28	1	0	2	0	3	15
29	0	2	0	0	2	
30	0	0	2	0	2	工業
31	0	2	0	0	2	5
32	0	1	0	0	1	農業
33	0	1	0	0	1	10
34	0	0	2	0	2	理科
35	1	1	2	0	4	9
36	0	0	1	0	1	その他
37	1	1	0	0	2	0
38	1	3	1	0	5	24
39	2	1	1	0	4	
40	1	2	1	0	4	工業
41	3	0	1	0	4	24
42	2	3	2	0	7	農業
43	4	2	2	0	8	27
44	3	3	0	0	6	理科
45	2	3	1	0	6	19
46	2	3	3	0	8	その他
47	2	3	2	1	8	1
48	3	3	4	0	10	71
49	2	5	3	0	10	
50	3	1	2	0	6	工業
51	1	1	6	0	8	23
52	3	1	1	0	5	農業
53	4	0	2	1	7	6
54	3	0	4	0	7	理科
55	3	1	6	0	10	25
56	2	0	0	0	2	その他
57	1	0	1	1	3	2
58	3	1	1	0	5	56
59	0	1	2	0	3	
60	1	1	1	1	4	
不明	1	1	2	0	4	
合計	59	52	59	4	174	

2022年度 教科別採用別人数および講師率・組合加入率

	工業	農業	理科	商業	合計
正規	59	52	59	4	174
再任用	9	1	7	1	18
欠員補充	16	7	23	1	47
非常勤	1	0	0	0	1
育休等代替	1	1	1	0	3
合計(定数)	85	60	89	6	240
講師率	20.0%	11.7%	25.8%	16.7%	20.0%
組合加入	51	27	51	4	133
加入率	60.0%	45.0%	57.3%	66.7%	55.4%

(※育休等代替を除く)

(※欠員補充、非常勤の割合)

(※産育休取得者を除く)

育休等取得者 1 2 0 0 3

# 2022年度 分会および採用別組合員数

2021/6/2 現 在

支部	番号	分会名	正規				非正規(常勤・非常勤)				組合員数	所属数
			育休・産休除く		再任用		欠員補充		産・育・療休代替			
			所属数	加入数	所属数	加入数	所属数	加入数	所属数	加入数		
高水須坂	1	飯山	1	1			1	1			2	／ 2
	2	下高井農林	4	1			1	1			2	／ 5
	3	中野立志館	2	2	1		1				2	／ 4
	4	中野西	1	1							1	／ 1
	5	須坂東	1	1							1	／ 1
	6	須坂	1								0	／ 1
	7	須坂創成	6	2	1		3	1			3	／ 10
長水	8	北部	1	1							1	／ 1
	9	長野吉田					1				0	／ 1
	10	長野	1	1							1	／ 1
	11	長野西					1				0	／ 1
	12	長野西中条校									0	／ 0
	13	長野商業	2	1	1						1	／ 3
	14	長野東					1				0	／ 1
	15	長野工業	10	6	2	1	2				7	／ 14
16	篠ノ井犀峡校									0	／ 0	
更埴	17	長野南					1	1			1	／ 1
	18	篠ノ井	1	1							1	／ 1
	19	更級農業	5	1			4	1			2	／ 9
	20	松代	1	1							1	／ 1
	21	屋代	2	2	1	1					3	／ 3
	22	屋代南	1	1							1	／ 1
	23	坂城					1				0	／ 1
上小	24	上田千曲	8	7			1	1			8	／ 9
	25	上田					1	1			1	／ 1
	26	上田染谷丘					1	1			1	／ 1
	27	上田東					1				0	／ 1
	28	丸子修学館	4	3							3	／ 4
	29	東御清翔	1								0	／ 1
久佐	30	蓼科	1	1							1	／ 1
	31	長野西望月S									0	／ 0
	32	小諸商業	1								0	／ 1
	33	小諸					1				0	／ 1
	34	軽井沢					1				0	／ 1
	35	佐久総(浅間C)	9	8					1	1	9	／ 10
	36	佐久総(白田C)	3	1	1		1				1	／ 5
	37	岩村田	1	1							1	／ 1
	38	野沢北	1		1		1	1			1	／ 3
	39	野沢南	1	1							1	／ 1
	40	小海	1								0	／ 1

支部	番号	分会名	正規				非正規(常勤・非常勤)				組合員数	所属数
			育休・産休除く		再任用		欠員補充		産・育・療休代替			
			所属数	加入数	所属数	加入数	所属数	加入数	所属数	加入数		
諏訪	41	富士見	3	2							2 / 3	
	42	茅野	1	1							1 / 1	
	43	諏訪実業	1	1	1	1					2 / 2	
	44	諏訪清陵	1								0 / 1	
	45	諏訪二葉	1								0 / 1	
	46	下諏訪向陽	1								0 / 1	
	47	岡谷東	1	1							1 / 1	
	48	岡谷南	1								0 / 1	
	49	岡谷工業	10	6	2		4				6 / 16	
上伊那	50	辰野	1	1							1 / 1	
	51	箕輪進修	2	2			1				2 / 3	
	52	上伊那農業	8	1			1	1			2 / 9	
	53	高遠	1	1							1 / 1	
	54	伊那北	2	1	1	1					2 / 3	
	55	伊那弥生丘	1	1							1 / 1	
	56	赤穂	1								0 / 1	
	57	駒ヶ根工業	6	5	1	1	1	1			7 / 8	
下伊那	58	松川					1				0 / 1	
	59	飯田	2		1						0 / 3	
	60	飯田風越	1	1							1 / 1	
	61	飯田OIDE長姫	8	6	1	1	3	1	1		8 / 13	
	62	下伊那農業	9	9					1		9 / 10	
	63	阿智	1								0 / 1	
	64	阿南	1	1							1 / 1	
木曾	65	蘇南	1	1			1				1 / 2	
	66	木曾青峰	4	2			2	1			3 / 6	
松筑	67	塩尻志学館	4	3							3 / 4	
	68	田川			1	1					1 / 1	
	69	梓川	1	1							1 / 1	
	70	松本工業	8	6			3	1			7 / 11	
	71	松本県ヶ丘	2	2							2 / 2	
	72	松本美須々ヶ丘	1								0 / 1	
	73	松本深志					1	1			1 / 1	
	74	松本蟻ヶ崎	1	1							1 / 1	
	75	松本筑摩					1	1			1 / 1	
安曇	76	明科					1				0 / 1	
	77	豊科	1								0 / 1	
	78	南安曇農業	7	1			1				1 / 8	
	79	穂高商業					1	1			1 / 1	
	80	池田工業	4	4	1	1	1				5 / 6	
	81	大町岳陽	1	1	1						1 / 2	
	82	白馬	1								0 / 1	
合計			171	107	18	8	48	17	3	1	133 / 240	
加入率			62.6%		44.4%		35.4%		33.3%		55.4%	

# 2022年度 分会別配置数

※配置数には、「代替講師」の人数を除く

支部	番号	分会名	正規								非正規(常勤・非常勤)				配置数	産・育・療休代替講師
			育休産休を含む				再任用				欠員補充					
			工	農	理	商	工	農	理	商	工	農	理	商		
高水須坂	1	飯山			1							1		2		
	2	下高井農林		3	1							1		5		
	3	中野立志館	1		1		1			1				4		
	4	中野西			1									1		
	6	須坂東			1									1		
	7	須坂			1									1		
	8	須坂創成	2	3		1	1				2	1		10		
	長水	9	北部			1									1	
10		長野吉田										1		1		
11		長野			1									1		
12		長野西										1		1		
13		長野西 中条校												0		
14		長野商業			1	1			1					3		
15		長野東										1		1		
16		長野工業	9		1		2			2				14		
17	篠ノ井 犀峽校												0			
更埴	18	長野南										1		1		
	19	篠ノ井			1									1		
	20	更級農業		5							3	1		9		
	21	松代			1									1		
	22	屋代			2			1						3		
	23	屋代南			1									1		
	24	坂城										1		1		
	上小	25	上田千曲	7		1					1				9	
26		上田										1		1		
27		上田染谷丘										1		1		
28		上田東										1		1		
29		丸子修学館	1	2	1									4		
30		東御清翔			1									1		
佐久	31	蓼科			1									1		
	32	長野西 望月S												0		
	33	小諸商業			1									1		
	34	小諸										1		1		
	35	軽井沢										1		1		
	36	佐総(浅間C)	3	7										10	1(農業)	
	37	佐総(臼田C)		2	1		1			1				5		
	38	岩村田			1									1		
	39	野沢北			1				1			1		3		
	40	野沢南			1									1		
	41	小海			1									1		

支部	番号	分会名	正規								非正規(常勤・非常勤)				配置数	産・育・療休 代替 講師
			育休産休を含む				再任用				欠員補充					
			工	農	理	商	工	農	理	商	工	農	理	商		
諏訪	42	富士見		2	1										3	
	43	茅野			1										1	
	44	諏訪実業				1			1						2	
	45	諏訪清陵			1										1	
	46	諏訪二葉			1										1	
	47	下諏訪向陽			1										1	
	48	岡谷東			1										1	
	49	岡谷南			1										1	
	50	岡谷工業	9		1		2					4			16	
伊那	51	辰野			1										1	
	52	箕輪進修	2										1		3	
	53	上伊那農業		7	1							1			9	
	54	高遠			1										1	
	55	伊那北			2				1						3	
	56	伊那弥生丘			1										1	
	57	赤穂			1										1	
	58	駒ヶ根工業	5		1		1					1			8	
伊那	59	松川											1		1	
	60	飯田			2				1						3	
	61	飯田風越			1										1	
	62	飯田OIDE長姫	7		1	1	1					3			13	1(工業)
	63	下伊那農業		9	1										10	1(農業)
	64	阿智			1										1	
	65	阿南			1										1	
	66	蘇南	1										1		2	
67	木曾青峰	1	2	1							1	1		6		
筑	68	塩尻志学館		3	1										4	
	69	田川							1						1	
	70	梓川			1										1	
	71	松本工業	8									2	1		11	
	72	松本県ヶ丘			2										2	
	73	松本美須々ヶ丘			1										1	
	74	松本深志											1		1	
	75	松本蟻ヶ崎			1										1	
76	松本筑摩											1		1		
曇	77	明科											1		1	
	78	豊科			1										1	
	79	南安曇農業		7									1		8	
	80	穂高商業												1	1	
	81	池田工業	3		1		1					1			6	
	82	大町岳陽			1				1						2	
	83	白馬			1										1	
合計			59	52	59	4	9	1	7	1	17	7	23	1	240	3

長野県高等学校教職員組合 実習教員部のあゆみ

西暦	和暦	部長	県	記事	2 級		界		任 (2010年度までは2級ワタリ)		採用・人数		
					職業科		理 科		採用数	備 考	採用数	内 訳	
					条件	2級任用数	条件	備考・補職名					備考・補職名
55	S30											高教組本部へ「実習助手部」設立要求	
56	S31											6/21「実習助手部」設立	
57	S32	岡 沢	岡 沢									↑ 「助手」	
58	S33	岡 沢	岡 沢									↓ 「実習助手」	
59	S34	岡 沢	岡 沢										
60	S35	宮 坂	宮 坂										
61	S36	宮 坂	宮 坂									理科実習助手県費採用開始 1 学年360名以上校へ	
62	S37	押 沢	押 沢									理3	
63	S38	小 沢	小 沢									理3	
64	S39	小 泉	小 泉									理3  学年360名以内へも配置拡大	
65	S40	小 泉	小 泉	2級格付け (ワリ) 闘争始まる								理8	
66	S41	橋 詰	橋 詰									理8	
67	S42	橋 詰	橋 詰									理8	
68	S43	橋 詰	橋 詰	農業・工業5名任用 (農・工2級ワリ実現)	5名	農3 工2	任用試験合格 経年10年 免許取得3年 異動	教諭兼実習助手				理8	「実習教諭」
69	S44	下 平	下 平	7/10交渉 (経年10年、免許取得3年、異動条件撤廃)	5名	農2 工3						理8	上農・春日T強制配転攻撃
70	S45	下 平	下 平		7名	農2 工5							理科実習職員県費での全校配置完了 ワリ条件の撤廃・運用短縮の闘い
71	S46	山 崎	山 崎		10名	農2 工8							第1回学習交流集会
72	S47	山 崎	山 崎		14名	農2 工8							理科担当実習助手実技講習会開催 (教育センター)
73	S48	浜 島	浜 島	交渉 (免許取得者全員任用合意、任用試験廃止)	23名		「12月末日までに免許状取得者に翌年4月1日より教諭に任用する」						
74	S49	浜 島	浜 島	1/16交渉 (学則改正合意) (3/11公布) 4/1交渉前年までに免許取得者全員任用 2/4交渉 (理科実習助手について50年度を目途に検討を確認)	12名		第9条 教諭を教諭 (実習担任教諭を含む) に、第13条に1条を加える。 第13条の2 実習担任教諭は、実験または実習のうち、専門的事項をつかさどり、かつ、実験実習について教諭を助ける。	教諭 (実習担任)					名称変更「実習職員部」 (74年4月第22回中央委員会決定) 農業科実習職員クラス担任 (丸 子・塩尻・梓川)
75	S50	上 原	上 原	2/4交渉 4/1交渉 (理科実習助手について50年度を目途に検討を確認)	12名								農業科廃止に伴う人事異動の取り 組み・公募採用決定

西暦	和暦	部長	県執	記事	2 級		界		任 (2010年度までは2級ワタリ)		採用・人数		備考			
					職業科		理 科		採用数	条件	備考・補職名	条件		備考・補職名	全体	内 訳
					2級任用数	条件	備考・補職名	条件								
76	S51	上原	上原	11/19交渉 (理科の検討は県教委だけではできない旨回答)	26名	商2					11名	理8名 4/1公募採用開始 商 (岡島 T・山田 T)				
77	S52	上原	上原	12/6交渉 (「50年の県人勤で7割の見直しを通告されたので新たな7割設定は問題にならないが、3等級の再検討を含め、頭打ち (理科40.5歳35号俸) に近づくと該当者が出る頃まで7割実現を検討する」)	15名	農5 工10					14名	理9				
78	S53	杉村	杉村	12/9交渉 (「何とかして改善していきたい」)	12名	農6 工6					7名	理3	家庭科実習職員配転問題の取り組み			
79	S54	杉村	杉村	3/22交渉 (「今後全国調査をして検討したい」) 9/1交渉 (県具体案提示) 11/6交渉 (12等級無条件7割は無理である。人事課と更に話し合い年度内に目標をつけたい。)	6名	農4 工1					7名	理3				
80	S55	丸山	丸山	3/22交渉 (「人事課の理解得られず年度内は難しい」) 9/3運短の見直しを逆提案	7名	農3 工3 商1					9名	理4				
81	S56	丸山	丸山	1/14交渉 (「財政課、自治省の締め付けの中で人事課、人事委員会で検討しているが困難である。原稿3等級の賞金の見直しを図りたい。」)	3名	峰村 T					6名	理1				
82	S57	小林	小林	1/27交渉 (「2等級7割は現時点で無理。昨年度提示した5等級見直しについても一度考えたい。」) 12/6交渉 (12等級7割は現時点で無理。『検討委員会 (メンバー5名) をつくり『理科助手の任用権に関する検討事項』をつくる。』)	4名	農1 工3					6名	理5	商業科岡島 T クラス担任 単独農高 (上農) でクラス担任			
83	S58	小林	小林	12/20交渉 (「①原稿の最終短縮3-2)号俸以降を削り最高号俸で2等級7割の人事院の80年給与早見表見直しに伴いその上で県として対応したい。」)	3名	工3					9名	理5	理科実習助手賞金改善のための分会・校長上申の取り組みを実施			
84	S59	上原	上原	5/2交渉 (「7/25交渉までに結論を出したい。」) 9/14交渉 (「本交渉前に役員に具体案を提案、話し合う。60年人勤を見てから、早く61年から。」) 10/16交渉 (具体的別案を提案) 家 (片桐 T) 任用案現 11/6交渉	6名	農2 工3 家1					3名	理1	家庭科片桐 T クラス担任			
85	S60	上原	上原	7/23交渉 (「9月下旬に2等級7割を再提案する」) 9/17 2等級7割案提案 10/8交渉 (2等級7割案再提案) 10/22説明会 11/12説明会 11/22交渉 11/28交渉	3名	工3					6名	理1				

西暦	和暦	部長	県執	記事	2 級 界		任 (2010年度までは2級ワタリ)		採用・人数		採用数	備考	
					職業科		理 科		備考・補職名	備考・補職名			内 容
					2級任用数	条件	備考・補職名	条件					
86	S61	上原		3/31交渉(再々提案の承認、86年度入勤後早速に9月には再々提案、組合側と内容詰める。) 7/15交渉 9/30交渉(再々提案) 10/14交渉 11/14、15学習会 12/4交渉 2/19交渉(2等級の別案再々提案) ＝最終提案 2/26説明会 2/17、3/3執行委員説明 3/13交渉 ①県教委受け入れ ②細部は今後話し合っていく。 ③1989年4月1日実施方向で作業をすすめる。 ④決着後も資金問題は改善の方向で話し合いは行う。 確認書取り交わし 3/13 2級ワタリ案受け入れ 確認書取り交わし	農1 工1 2名				13名	理4			
87	S62	向山									4名	理2	1級の運用短縮123月→72月 賞金カーブの変更 (上原、山口、阿藤)
88	S63	向山									7名	理1	
89	H元	向山		経年10年無条件ワタリ・当面最高号機の要求については、2級ワタリ条件整備成立のため要求削除							4名	理1	
90	H2	富田		11/30 2級ワタリ条件、条件整備(講習会実施決定)							5名	理4	
91	H3	白鳥		理科、講習会夏休み中実施							7名	理4 工2 衛1	
92	H4	白鳥		同、2年目実施							5名	理4	
93	H5	小淵		4/1付 理科担当4名が2級ワタリ実現							6名	理2 工3 衛1	
94	H6	大川		ワタリ講習開始年齢引き下げ決定	2 衛看 2名						8名	理6 工2	女性部長誕生 衛看クラス担任実現
95	H7	大川		ワタリ年齢引き下げ決定							4名	理2 工2	
96	H8	富田									2名	工2	
97	H9	成沢		ワタリ年齢、ワタリ講習開始年齢引き下げ決定 11/21確定交渉							9名	理1 工4 農4	
98	H10	成沢		11/20確定交渉、講習開始年齢引き下げ決定							7名	理3 工3 農1	一時金傾斜配分5%6月前倒し 制度改革「理科最終報告」分会計議
99	H11	成沢		11/19確定交渉							4名	理2 工1 農1	HI2年度採用試験(理科なし)

西暦	和暦	部署	課長	記事	2 級 界		採用・人数				
					職業科		理 科				
					2級 任用数	条件	備考・補職名	条件	備考・補職名	採用数 全体	内 訳
00	H12	上原	上原	ワタリ年齢、ワタリ講習開始 12/1確定交渉年齢引き下げ決定				2名	農2	1/16交渉（再任用制度について、職業科2級のまゝ・理科1級）	
01	H13	久保	久保	9/3回答交渉 11/28確定交渉55歳昇給停止に伴いワタリ年齢引き下げ決定				5名	工3 農2	この年実施の採用試験から受験資格年齢が教諭を同じとなる。	
02	H14	久保	久保	7/16回答交渉 12/3確定交渉2級資格付に係る必要在職年数の引き下げ決定（各2年短縮）				3名	工2 農1	採用試験の受験資格年齢の撤廃	
03	H15	久保	久保	10/23回答交渉 12/2確定交渉				4名	工2 農2		
04	H16	杉村	杉村	10/14回答交渉 4大卒採用者は同年12月末までに校長経由申請、翌年4月任用（確認）				6名	工3 農3		
05	H17	村上	村上	10/21回答交渉				2名	工1 農1		
06	H18	村上	村上	10/31回答交渉 12/5確定交渉1級昇短66月から24月に削減（給与構造改善）				2名	工1 農1	採用試験なし	
07	H19	川俣	川俣	11/5回答交渉 12/5確定交渉 理科講習開始年齢1歳引き下げ決定				1名	—	採用者なし 採用試験に教諭教養が入る	
08	H20	川俣	川俣	10/23回答交渉 11/21確定交渉				2名	工1 農1	信濃教育会へ職員録「実手」申し入れ（改善） パソコン配備配布条件、県教委へ申し入れ	
09	H21	川俣	川俣	10/28回答交渉				2名	工1 農1		
10	H22	黒澤	黒澤	6/18 2級昇任交渉事前協議 7/26 2級昇任第1回交渉  9/3第2回交渉（専門科中心の交渉） 9/3提出交渉（理科に係わる交渉含）  10/22第3回交渉（高・県教組合同妥結）	県教委 格付け条件「免許取得・高卒18年・短大卒16年・大卒14年」改善提案  【 10/22妥結確認書 】 以下の(1)(2)を満たした4月1日昇任 (1)教育職員免許法に定める当該実習教科免許状(上位免許含む) 有する (2)免許取得・高卒18年・短大卒16年・大卒14年（最短6歳となる） ただし、口頭メモにより「昇任基準の実施時期は、H26年4月を目途に実施条件を整えた上で双方誠意を持って話し合う」	備考・補職名	条件	備考・補職名	採用数	内訳	備考
11	H23	黒澤	黒澤	10/6 回答交渉 11/10確定交渉	県教委「8教科講習と理科免許相当単位10単位で教諭（実習担任）を42歳発令」を提案  【10/22妥結確認書】 以下の(1)(2)を満たした後の4月1日昇任 (1)教育職員免許法別表第3に定める教員免許状の取得相当資格を有すること。 (2)受講開始要件なし、8単位の講習会 7、講習会終了後年度末年齢3歳以上で長野県教育職員免許法認定講習10単位取得 9、講習会単位取得後の在職年数12年以上（育休中でも受講可能） (2)在職年数、高卒18年・短大卒16年・大卒14年以上で42歳以上ただし、口頭メモにより「昇任基準の適用に当たって、平成22年度以前の採用者には経過措置をとる」			2名	工1 農1	教職員評価について県教委提案合意  H23年度採用試験実施 (理・農・工) 理科は11年ぶり	
12	H24	山岸	山岸	10/19回答交渉 1/7確定交渉	2010年度交渉により、理科で教諭昇任が実現、また「実習教員」「教諭」の呼称の使用が認められる（4月1日より実施） 《昇任前》実習助手（呼称＝実習教員） 《昇任後》発令＝教諭（実習担任） 補職名＝実習担任教諭（呼称＝教諭） 確定交渉にて認定講習の講習期間が、3日間から2日間に短縮			6名	工2 農2 理2		

西暦	和暦	部長	県執	記事	2 級 界		理 科		採用・人数		
					職 業 科		備 考		採用数	備 考	
					2級任用数	条件	備考・補職名	条件			全体
13	H25	山岸	湯本	10/17回答交渉 専門科2級昇任制度について言及 11/18確定交渉 (化学薬品センター講習を検討)					6名	工2 農2 理2	
14	H26	山岸	工藤	10/20回答交渉 (職名・呼称の書類への記入合意) 11/18確定交渉 専門科問題で4回の県との話し合い実施	3/25専門科2級昇任基準実施条件案提案 専門科全実習教員へのアンケート実施 1/29専門科問題検討会議実施			9名	農3 工3 理3	理科化学薬品センター講習実施 理科実教基礎講座実施 H27年度採用選考で11名合格 若年者選考導入	
15	H27	山岸	工藤	10/16 回答交渉 11/17 確定交渉 12/9 専門科2級昇任基準 事前協議 1/26 専門科2級昇任基準 第1回交渉 1/18 専門科2級昇任基準 第2回交渉	【1/18妥結 確認書】 平成22年確認書に基づく専門科実習助手昇任基準の実施時期 1 新昇任基準はH29年4月1日から適用。 免許取得 2 在職年数 (高卒18年、短大卒16年、大卒14年) (H28年度採用者までの在職年数を段階的に短縮) 3 実習助手と実担教諭の職務内容を明確化する。 (標準業務)			10名	農3 工3 理4	採用選考問題から教職教養が削られる	
16	H28	山岸	綿貫	10/17回答交渉 専門科2級昇任制度について言及 11/18確定交渉 (化学薬品センター講習を検討)				7名	工2 農2 理3	未組合員を含め新採者へのアンケート実施	
17	H29	川越	上松	10/17回答交渉 採用要項勤務条件の追加 11/13確定交渉	2010年度確認書に基づく専門科実習助手新承認基準の適用(4月1日)			7名	工2 農2 理3		
18	H30	川越	上松	10/17回答交渉 昇任要件の手引きについて 11/12確定交渉 3/14 県教委へ要請 (呼称・昇任の手引きについて)				7名	工2 農2 理3	3月12日、県教委が「人事異動発表資料(3月18日発表)」において、これまでに『呼称』を使用してきたものを原直し、『実習担任教諭』、『実習助手』として公表する」ことを高教組へ通告。	
19	R1	川越	橋本	10/8回答交渉 11/12確定交渉 (呼称の原直しについては労使協議会へ)				6名	工2 農2 理2	1/20労使協議会【本部対応】 呼称のさらなる原直しは今のところ進めていないことを確認	
20	R2	中村	橋本	10/9回答交渉 呼称、白衣…校長会、事務長会で改めて説明 11/10確定交渉 (呼称の原直しについては労使協議会へ)				6名	工2 農2 理2	1/20労使協議会【本部対応】 呼称のさらなる原直しは今のところ進めていないことを確認	
21	R3	中村	伊藤	10/12回答交渉 呼称…校長会、事務長会で改めて説明 11/18確定交渉 白衣…4/貸与、金額を、資料を準備して説明 (管理講座、特別教室の分厚・101環境…検討する 呼称の原直しについては労使協議会へ)				7名	工2 農2 理3	1/12労使協議会【本部対応】 呼称のさらなる原直しは今のところ進めていないことを確認	

## 2021年度 各種理科実習教員研究会報告書

(高水・須坂・長水 支部) 報告者(学校名) 堀 由美 (長野工業) 報告日 2022年 2月 25日

月日	会議名	内 容	会 場	形 態 (校長会・教文など)	参加 人数
6/22	第1回	活動計画立案 実験 火山灰の分析 実験書の討議 糖類Ⅰ・Ⅱ 実践紹介	飯山高校	すべて 校長会	13名
8/20		中止	飯山高校		
9/21	第2回 Google meet	ICT機器の接続・利用方法の研修 活用実践例 各校から 実験での疑問相談	各校		14名
11/25	第3回	実験 ニラの葱坊主・パッタの減 数分裂 実験 DNAの抽出と確認方法 実験書の討議 糖類Ⅰ・Ⅱ完成 研修報告	長野工業高校		11名
2/2		中止	飯山高校		
3/ 予定	第4回 Google meet	今後の課題について	各校		

### 2022年度 担当者の予定 (参考までに)

学校	お名前
下高井農林	大庭 志真

## 2021年度 各種理科実習教員研究会報告書

(更埴 支部) 報告者(学校名) 桑原 浩子 (尾代南) 報告日 年 月 日

月日	会議名	内 容	会 場	形 態 (校長会・教文など)	参加 人数
5/25	第1回 4区理科 実習教員研究会	今年度の活動計画について 各校情報交換 1人1レポート研究発表 (昨年度実施しない方)	更級農業高校	校長会	7名
11/19	第2回 4区理科 実習教員研究会	実験実習 右けんの合成 ガラス細工 各校情報交換	更級農業高校	校長会	8名
2/1	第3回 4区理科 実習教員研究会	簡易分光器の製作 今年度のまとめ 来年度の当番校について <b>予定していましたが中止</b>	更級農業高校	校長会	

### 2022年度 担当者の予定 (参考までに)

学校	お名前
長野南高校	洞上 涼

2021年度 各種理科実習教員研究会報告書

( 上小 支部) 報告者(学校名) 橋詰友里恵 ( 東御清翔高校 )

月日	会議名	内 容	会 場	形 態 (校長会・教文など)	参加人数
6月22日(火)	上小地区理科実習教員研究会	・酸化還元滴定 ・情報交換	東御清翔高校	校長会	8 (佐久地区より3名)
11月30日(火)	上小地区理科実習教員研究会	・細胞の観察 ・情報交換	東御清翔高校	校長会	6

2022年度 担当者の予定 (参考までに)

学校	お名前
丸子修学館高校	黒澤瑞穂先生

2021年度 各種理科実習教員研究会報告書

( 諏訪 支部) 報告者(学校名) 三浦幸子 ( 岡谷工業 )

月日	会議名	内 容	会 場	形 態 (校長会・教文など)	参加人数
9月28日(木)	第1回 諏訪地区高等学校理科実習教員等研究会	情報交換 授業でのコロナウイルスの扱い方 学校内のコロナウイルス対策について 昨年度の実験の様子 モンキーバナナの観察・株分け	岡谷南高校	校長会	8名
12月7日(火)	第2回 諏訪地区高等学校理科実習教員等研究会	グリセリン筋の作製 トリのささみ・ホタテ貝柱 情報交換 今年度の実験の様子	岡谷南高校	校長会	8名

2022年度 担当者の予定 (参考までに)

学校	お名前
下諏訪向陽高校	窪田尚子 先生

※件は適宜増減してください

※支部長が理科以外の場合は、支部内で問い合わせの上、記入をしてもらって提出ください。

※情報交換の希望がありましたので、定期大会などで資料として配付予定です。

メール送り先: jikkyo.naganoh@educas.jp

## 2021年度 各種理科実習教員研究会報告書

( 上伊那 支部 ) 報告者 ( 学校名 ) 小池 恵 ( 高遠高校 ) 報告日 2021年12月2日

月日	会議名	内 容	会 場	形 態 (校長会・教文など)	参加 人数
5/25	上伊那理科実習 教員研究会	顕微鏡の使い方 顕微鏡観察 (ワカガモ、Aマシキユウ、横紋筋等) インクラゲの採取	高遠高校	校長会	10
8/4	上伊那理科実習 教員研究会 兼、理科実習教員 初任者研修	野外研修 (ツツクハク、ヒリゴク、Aマシ 生息地、土石流、寒天工場、 かんてんばばガーデン等)	駒ヶ根市 伊那市	校長会	14
9/16	上伊那理科実習 教員研究会 兼、理科実習教員 初任者研修	中和滴定 酸・塩基 その他の滴定について	伊那北高校	校長会	12
10/2	上伊那教育研究 集会 理科研究会	スターリングエンジンの製作	高遠高校	教文	7
11/29	上伊那理科実習 教員研究会	酸化還元滴定 酸化剤・還元剤	伊那北高校	校長会	9
2/22	上伊那理科実習 教員研究会	箔検電器 新教育課程について	高遠高校	校長会	

### 2022年度 担当者の予定 (参考までに)

学校	お名前
辰野高校	笹川かをり先生

## 2021年度 各種理科実習教員研究会報告書

( 下伊那 支部 ) 報告者 ( 学校名 ) 村松 亜紀 ( 飯田OIDE長姫 ) 報告日 年 月 日

月日	会議名	内 容	会 場	形 態 (校長会・教文など)	参加 人数
5/20 (木)	第1回 下伊那 実験研究会	・今年度の年間行事立案 ・実験・実習の情報交換	阿智高校	校長会	9
9/30 (木)	第2回 下伊那 実験研究会	炎色反応 紫キャベツなどを使った pHの確認	飯田 OIDE長姫 高校	校長会	
コロナ禍のため中止					
11/18 (木)	第3回 下伊那 実験研究会	・炎色反応 ・紫キャベツなどを使った pHの確認 ・運動量保存の法則 ・オシロスコープを使った 音の性質 ・初任者研修報告	飯田高校	校長会	9
2/21 (月)	第4回 下伊那 実験研究会	・今年度のまとめ ・来年度の計画	飯田高校	校長会	
コロナ禍のため中止					

### 2022年度 担当者の予定 (参考までに)

学校	お名前
飯田OIDE長姫	村松 亜紀

※枠は適宜増減してください

※支部長が理科以外の場合は、支部内で問い合わせの上、記入をいもらって提出ください。

※情報交換の希望がありましたので、定期大会などで資料として配付予定です。

メール送り先: jikkyo.naganoo-h@educas.jp

2021年度 各種理科実習教員研究会報告書

( 松筑 支部)

報告者(学校名) 森田 純子(松本県ヶ丘)

月日	会議名	内容	会場	形態 (校長会・教文など)	参加 人数
7月 6日 (火)	第1回松塩木曾地 区理科実習教員 研究会	・今年度からの体制についての説 明と情報交換	松本県ヶ丘高校	研究会 研究会長は 事務局校の校長	11
8月 18日 (木)	第2回松塩木曾地 区理科実習教員 研究会	木曾青峰高校演習林巡検 新型コロナウイルス感染拡大のため中止	木曾青峰高校 (中止)	〃	
10月 21日 (金)	第3回松塩木曾地 区理科実習教員 研究会	・センター研修内容の伝達 ・簡易分光器の作成 ・情報交換	松本県ヶ丘高校	〃	8
11月 26日 (金)	第4回松塩木曾地 区理科実習教員 研究会	・電気回路の実験 ・情報交換	松本県ヶ丘高校	〃	9
2月 25日 (金) (予定)	第5回松塩木曾地 区理科実習教員 研究会	・光の3原色実験装置の作成 ・伝達講習(色素の分離) ・情報交換 ・来年度事務局決定	松本県ヶ丘高校	〃	

2022年度 担当者の予定(参考までに)

学校	お名前
田川高校	(異動の状況による)

※枠は適宜増減してください

※支部長が理科以外の場合は、支部内で問い合わせの上、記入をしてもらって提出ください。

※情報交換の希望がありましたので、定期大会などで資料として配付予定です。

メール送り先: jikkyo.naganano-h@educas.jp

2021年度 各種理科実習教員研究会報告書

( 安曇 支部)

報告者(学校名) 栗田靖子(池工)

月日	会議名	内容	会場	形態 (校長会・教文など)	参加 人数
6/29	理科 実習教員 研究会	・鏡づくり ・情報交換	豊科高校	校長名 出張	5
〃/30	〃	・試薬の調整 ・情報交換	〃	〃	5

2022年度 担当者の予定(参考までに)

学校	お名前
大町岳陽	松井友里

※枠は適宜増減してください

※支部長が理科以外の場合は、支部内で問い合わせの上、記入をしてもらって提出ください。

※情報交換の希望がありましたので、定期大会などで資料として配付予定です。

メール送り先: jikkyo.naganano-h@educas.jp

2022年度実教部 年間予定表

※コロナウイルスの蔓延状況等に応じて、予定が変わることがあります。

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
1	金	日	水	水	金	木	土	1	土	火	木	1	土	火	木	1	土	水	日	水	水	水	3月	
2	土	月	木	木	土	火	日	2	日	日	金	2	日	水	金	2	日	木	月	木	木	木	2月	
3	日	火	金	金	日	水	月	3	月	土	土	3	月	木	土	3	月	金	火	火	金	金	金	2月
4	月	水	土	土	月	木	火	4	火	日	日	4	火	水	日	4	火	土	水	水	土	土	土	2月
5	火	木	日	日	火	土	水	5	水	月	月	5	水	金	土	5	水	日	木	木	日	日	日	2月
6	水	金	月	月	水	日	木	6	木	火	火	6	木	土	日	6	木	月	金	金	月	月	月	2月
7	木	土	火	火	木	水	火	7	金	日	水	7	金	月	月	7	金	火	土	火	火	火	火	2月
8	金	日	水	水	金	木	金	8	土	月	木	8	土	火	火	8	土	水	日	水	水	水	水	2月
9	土	月	木	木	土	火	土	9	日	火	金	9	日	水	水	9	日	木	月	木	木	木	木	2月
10	日	火	金	金	日	水	日	10	月	水	土	10	月	木	金	10	月	金	火	火	火	金	金	2月
11	月	水	土	土	月	木	月	11	火	木	日	11	火	金	土	11	火	土	水	水	水	土	土	2月
12	火	木	日	日	火	土	火	12	水	金	月	12	水	土	日	12	水	日	木	木	日	日	日	2月
13	水	金	月	月	水	日	水	13	木	土	火	13	木	日	日	13	木	月	金	火	火	土	土	2月
14	木	土	火	火	木	水	木	14	金	日	水	14	金	月	月	14	金	火	土	土	土	土	土	2月
15	金	日	水	水	金	木	金	15	土	月	木	15	土	火	火	15	土	日	金	火	土	土	土	2月
16	土	月	木	木	土	火	土	16	日	火	金	16	日	水	水	16	日	金	土	水	水	水	水	2月
17	日	火	金	金	日	水	日	17	月	水	土	17	月	木	木	17	月	土	火	木	木	金	金	2月
18	月	水	土	土	月	木	月	18	火	木	日	18	火	金	金	18	火	日	土	土	土	土	土	2月
19	火	木	日	日	火	土	火	19	水	金	月	19	水	土	土	19	水	月	金	木	日	日	日	2月
20	水	金	月	月	水	日	水	20	木	土	火	20	木	日	日	20	木	火	土	金	金	金	金	2月
21	木	土	火	火	木	水	木	21	金	日	水	21	金	月	月	21	金	水	土	土	土	土	土	2月
22	金	日	水	水	金	木	金	22	土	月	木	22	土	火	火	22	土	木	日	日	日	日	日	2月
23	土	月	木	木	土	火	土	23	日	火	金	23	日	土	土	23	日	水	月	月	月	月	月	2月
24	日	火	金	金	日	水	日	24	月	水	土	24	月	木	木	24	月	金	火	火	火	火	火	2月
25	月	水	土	土	月	木	月	25	火	木	日	25	火	金	金	25	火	土	水	水	水	水	水	2月
26	火	木	日	日	火	土	火	26	水	日	月	26	水	土	土	26	水	月	日	日	日	日	日	2月
27	水	金	月	月	水	日	水	27	木	火	火	27	木	日	日	27	木	火	金	金	金	金	金	2月
28	木	土	火	火	木	水	木	28	金	水	水	28	金	月	月	28	金	土	土	土	土	土	土	2月
29	金	日	水	水	金	木	金	29	土	木	木	29	土	火	火	29	土	水	日	日	日	日	日	2月
30	土	月	木	木	土	火	土	30	日	火	金	30	日	水	水	30	日	木	月	月	月	月	月	2月
31	火	火	日	日	水	水	日	31	月	水	土	31	月	木	土	31	月	金	火	火	火	火	火	3月